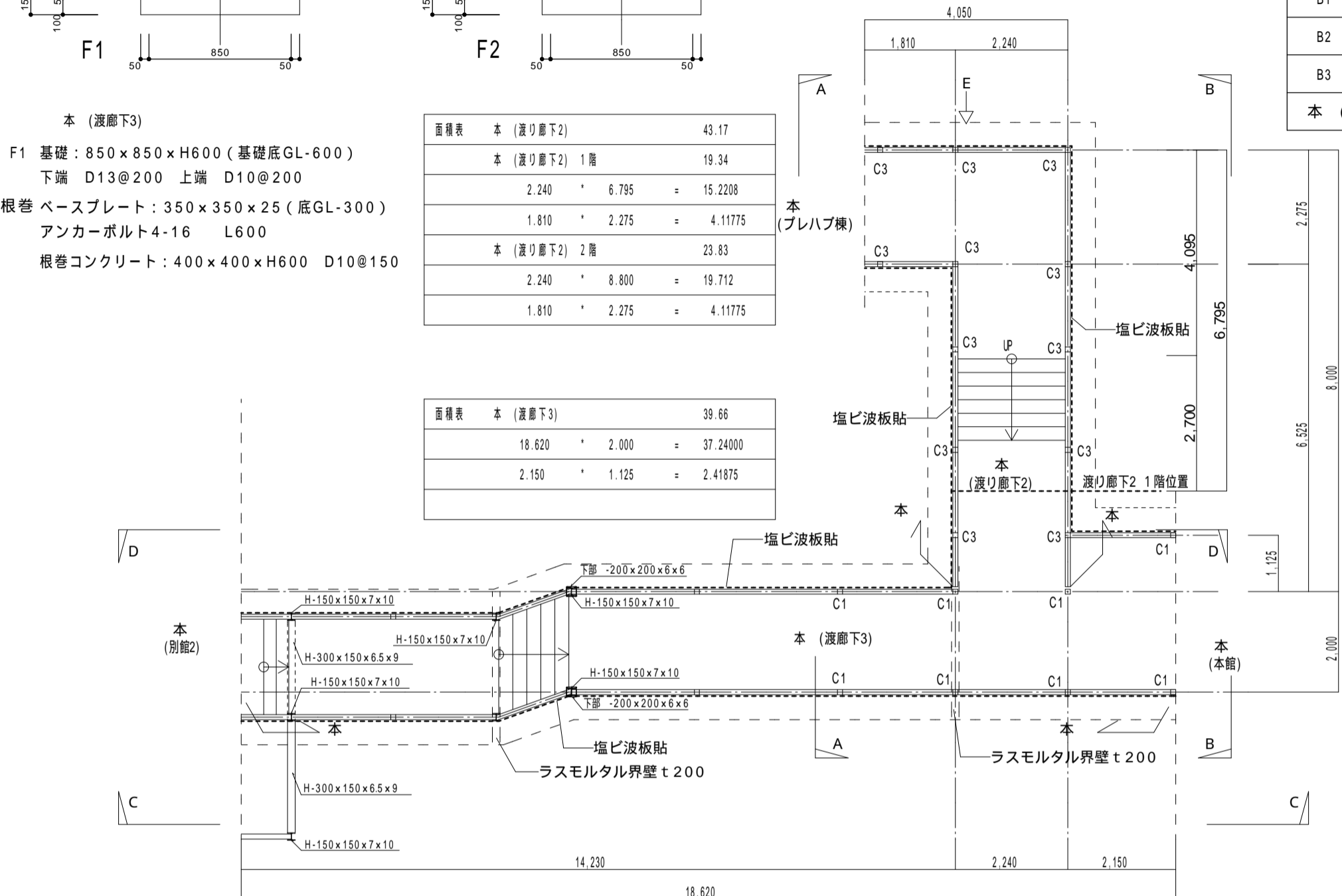


本 (渡廊下3)
 F2 基礎: 850×850×H600 (基礎底GL-600)
 下端 D13@200 上端 D10@200
 根巻 ベースプレート: 300×300×25 (底GL-300)
 アンカーボルト4-16 L600
 根巻コンクリート: 400×400×H450 D10@150

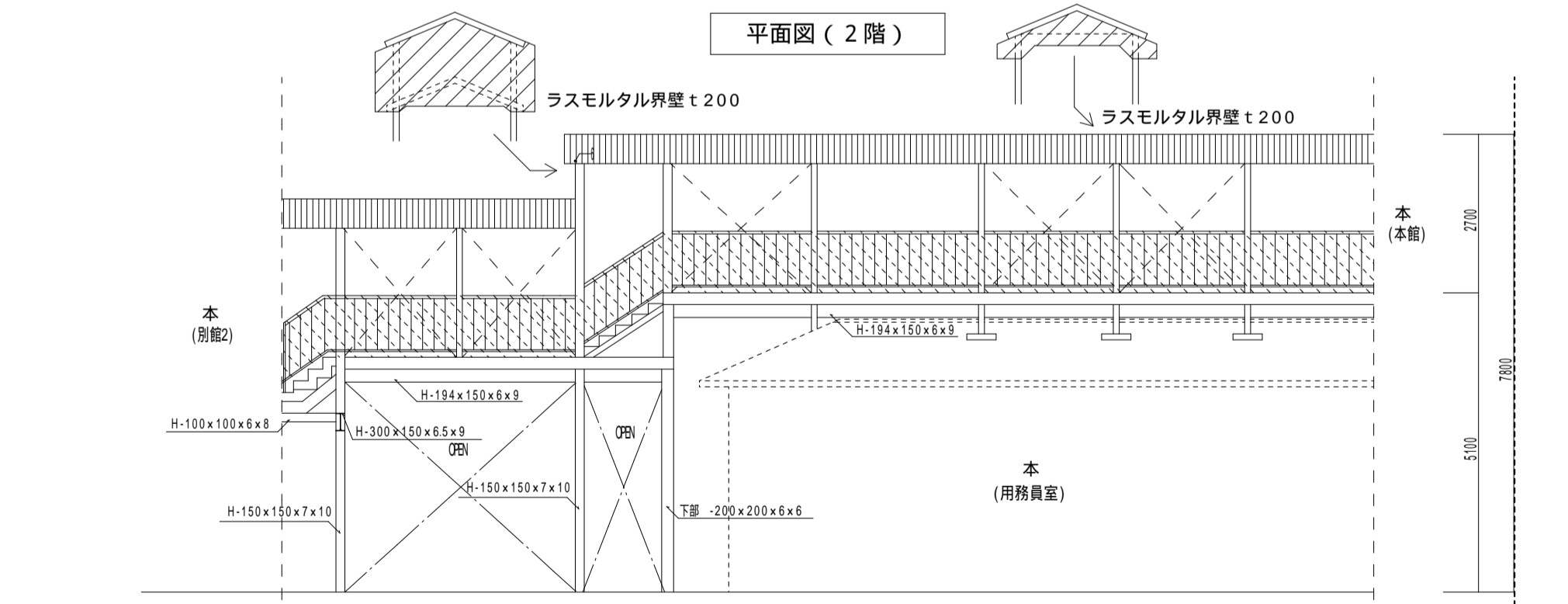
本 (渡廊下3)
 F1 基礎: 850×850×H600 (基礎底GL-600)
 下端 D13@200 上端 D10@200
 根巻 ベースプレート: 350×350×25 (底GL-300)
 アンカーボルト4-16 L600
 根巻コンクリート: 400×400×H600 D10@150

面積表	本 (渡廊下2)	43.17
	本 (渡廊下2) 1階	19.34
	2.240 * 6.795	= 15.2208
	1.810 * 2.275	= 4.11775
	本 (渡廊下2) 2階	23.83
	2.240 * 8.800	= 19.712
	1.810 * 2.275	= 4.11775

面積表	本 (渡廊下3)	39.66
	18.620 * 2.000	= 37.24000
	2.150 * 1.125	= 2.41875



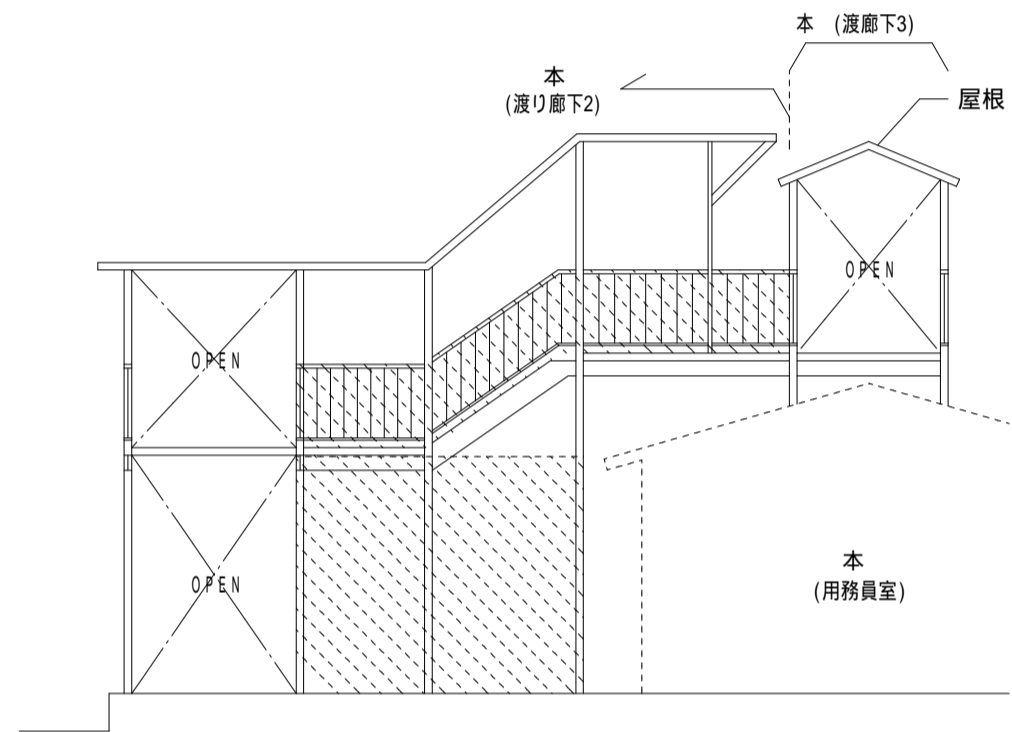
平面図 (2階)



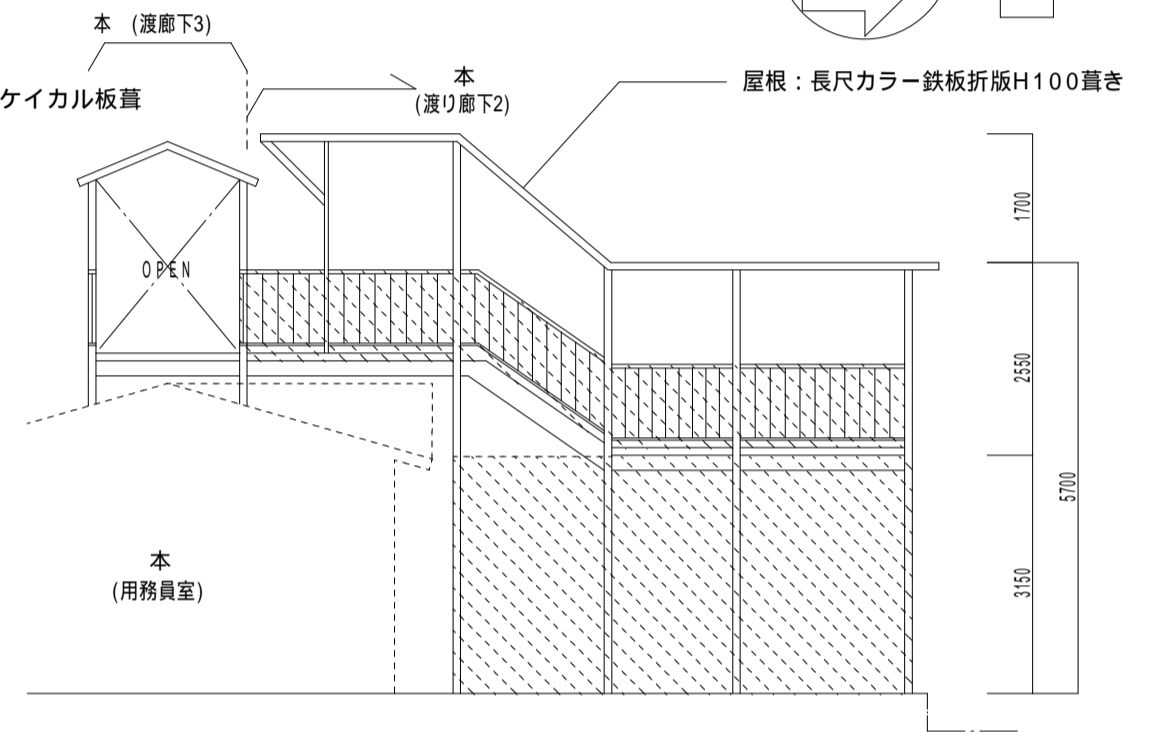
本 (渡廊下3)
C - C 立面図

凡 例			
符号	内 容	符号	内 容
C1	鉄骨柱 鉄骨柱: C-100×50×3.2 抱合せ	≡	ブレース 水平・垂直ブレース 9 水平ブレースは各スパン毎
C1	受け材 屋根柱受け材: C-100×50×3.2 抱合せ L600	2階スラブ	デッキプレート t50 t1.2 鉄筋コンクリート厚80 ワイヤメッシュ6 @150 モルタル塗 t30 スラブ鉄骨受梁: H-150×150×7×10
C2	鉄骨柱 鉄骨柱: H-150×150×7×10	本 (渡廊下3)	外壁: 鉄骨造 腰塩ビ波板貼貼
C3	鉄骨柱 鉄骨柱: -200×200×6×6		屋根: 鉄骨造 中波ケイカル板葺
B1	陸 梁 桁行鉄骨梁: C-100×50×3.2 仕口PL-250 程度		
B2	登り梁 鉄骨登り梁: C-75×45×3.2 下部 つなぎC-75×45×3.2		
B3	棟 棟梁: C-100×50×3.2 棟木: 木製120×120 2本	○	樋 軒樋半丸120 塩ビ 縦樋VP100
本 (渡り廊下2)	詳細は本 第三事務棟 参考図構造図参照	---	庇先端 屋根: 中波ケイカル板葺 D=600程度

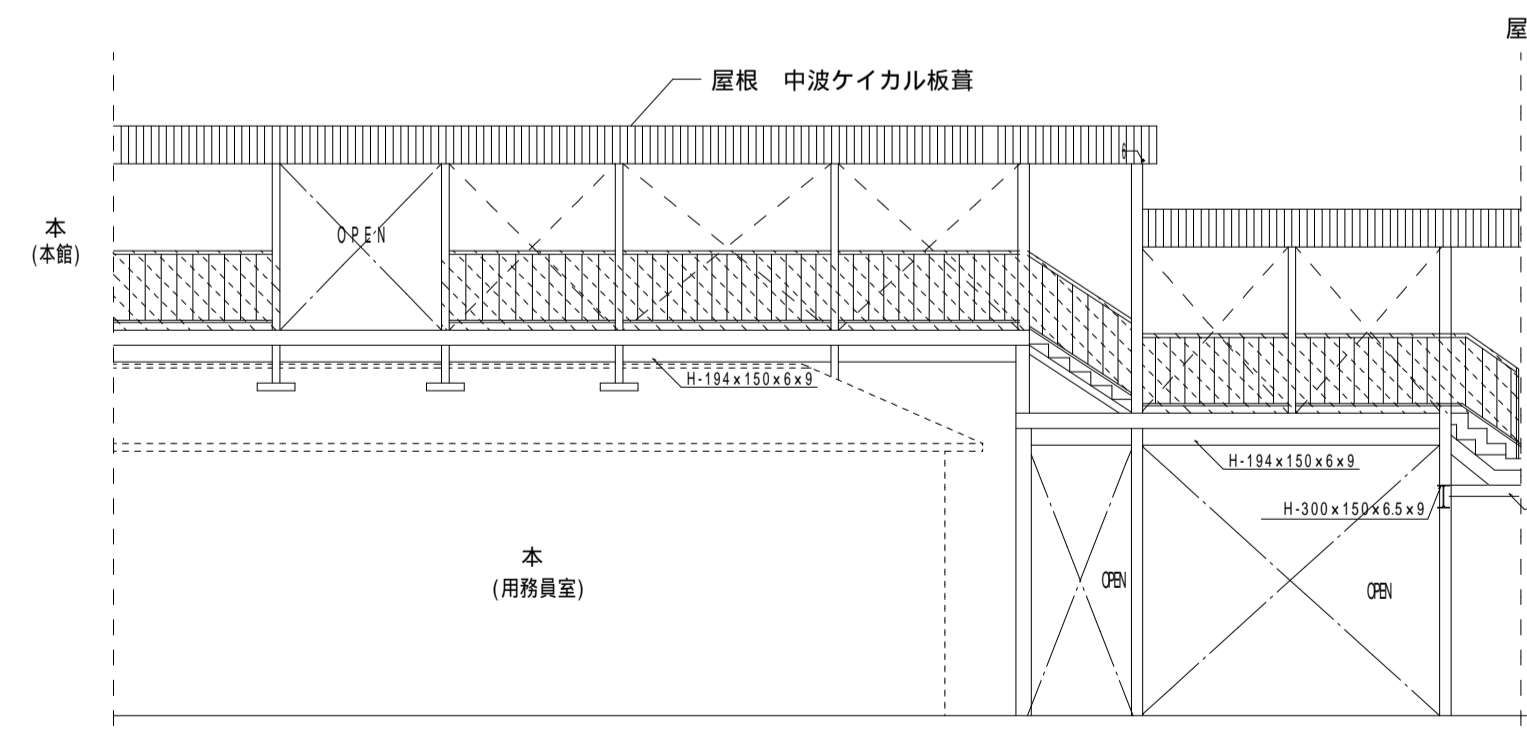
壁・腰: 塩ビ波板貼を示す



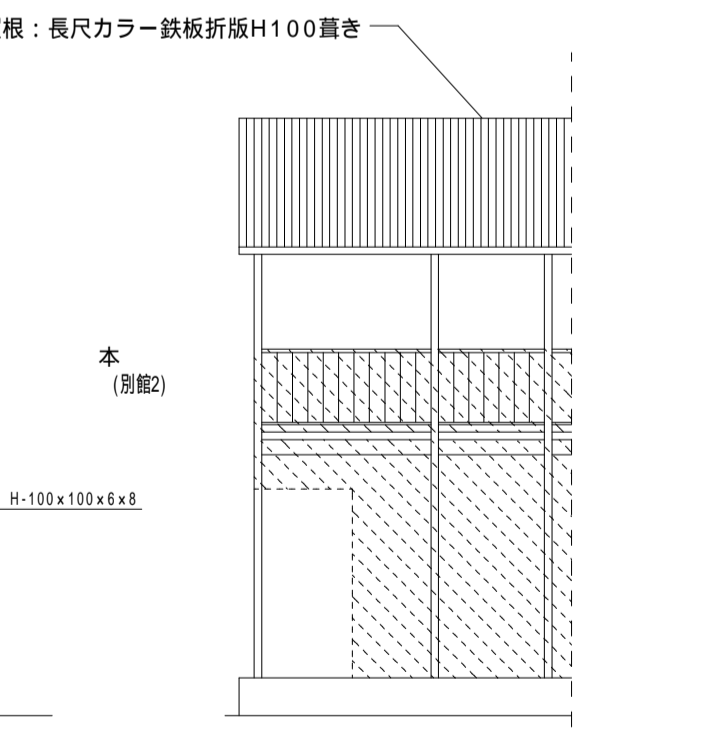
A - A 立面図



B - B 立面図

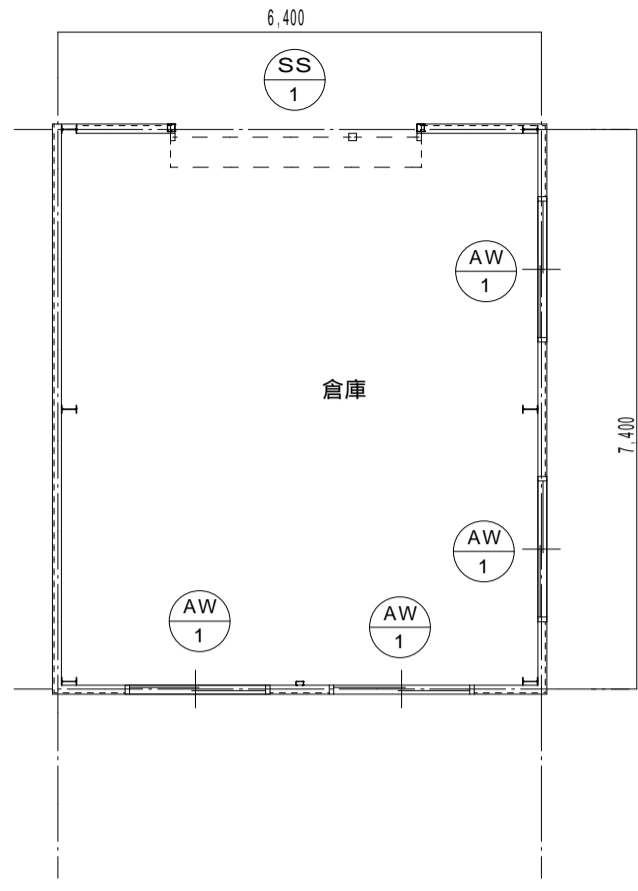


本 (渡廊下3)
D - D 立面図

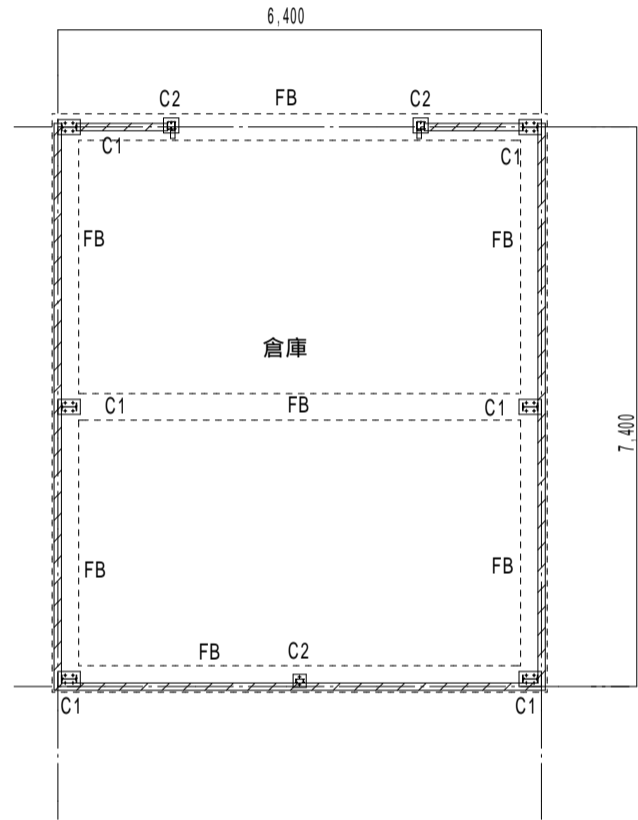


本 (渡り廊下2)
E - E 立面図

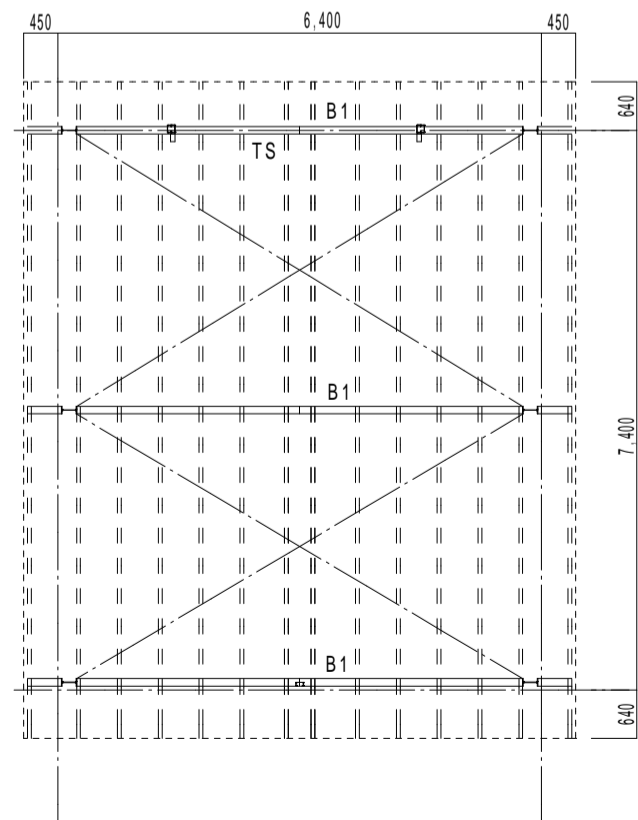
平面図



基礎伏図



梁・小屋伏図

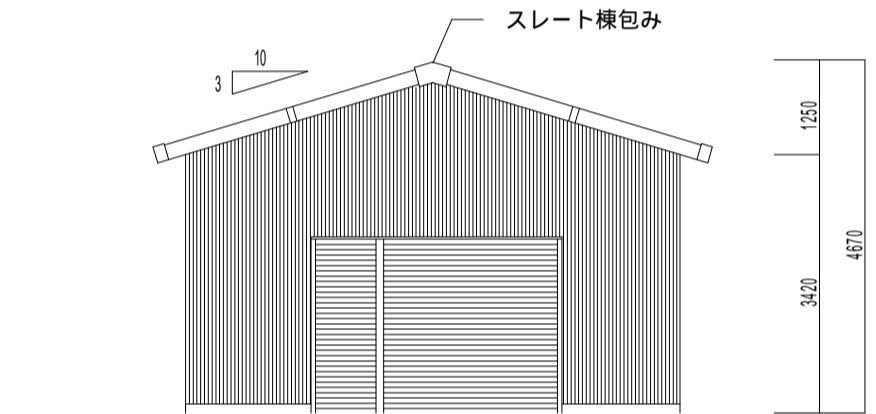


面積表	本 (倉庫棟3)	47.36
	1層 7,400 * 6,400	= 47,360.00

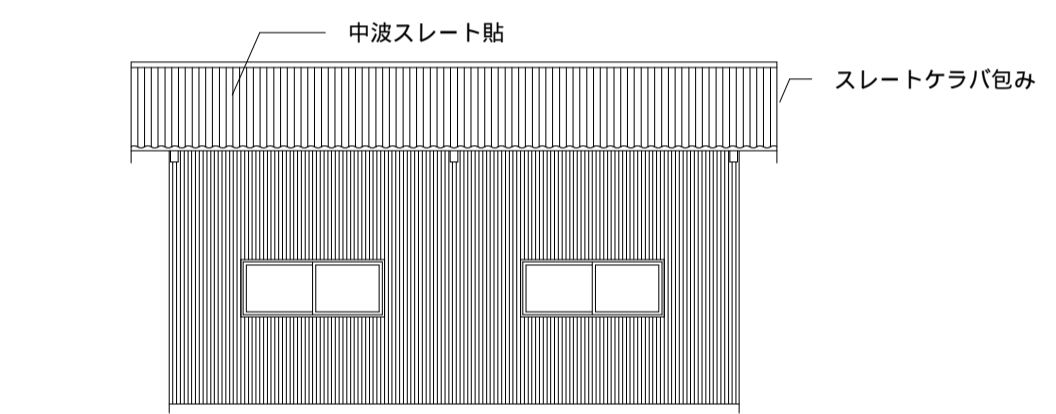
本 上下水道課倉庫

凡 例				
符号	内 容		符号	内 容
C1	鉄骨柱	鉄骨柱：H-200×100×6		
C2	鉄骨柱	鉄骨柱：C-100×50×3.2		
CB種	壁	壁：CB t 150積み (1段) を示す		
C1	基礎	鉄筋コンクリート400×350H600 ベースプレート300×200 A.BOLT4-13 L=300	本 土木建築課倉庫	外壁：鉄骨造 横胴縁下地 小波鉄板貼
C2	基礎	鉄筋コンクリート300×350H600 ベースプレート200×200 A.BOLT2-13 L=200		屋根：鉄骨造 母屋 中波スレート板葺
FB	地中梁	地中梁：鉄筋コンクリート350×H600 上端筋3-D16 下端筋3-D16 スターラップD10@200		巾木：CB積み (1段) モルタル刷毛引H100
土間コンクリート		鉄筋コンクリート厚130 ワイヤメッシュ6 @150 砕石厚150		
B1	登 梁	鉄骨梁：H-200×100×6 仕口PL-350 程度		
TS		トラス H400 陸材上部：C-100×50×3.2 陸材下部：C-100×50×3.2 ラチ材：C-100×50×3.2 仕口PL-400×500程度		
〓	ブレース	水平・垂直ブレース 9		
〓	胴 縁	胴縁：C-100×50×3.2 @750程度 北側 木胴縁35 3本		
〓	母 屋	母屋：C-100×50×3.2 @500程度		

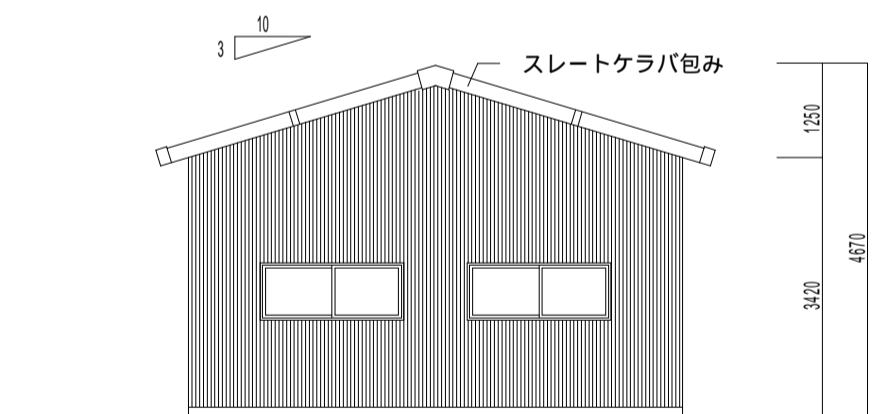
符号	形状	数量	AW1	鉄骨外付け引違い窓	4ヶ所
位置		倉庫			
姿図					
材料・仕上		アルミ B-2種 アングルピース付			
見込		70			
硝子		型板ガラス14			
金物		標準金物一式			
備考					
符号	形状	数量	SS1	スチールシャッター	1ヶ所
位置		倉庫			
姿図					
材料・仕上		スチール			
見込					
硝子					
金物		標準金物一式			
備考					



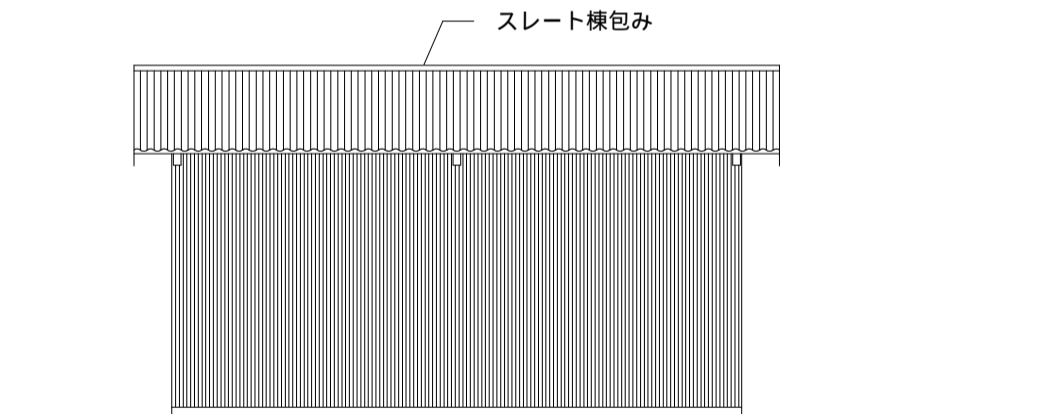
北面立面図



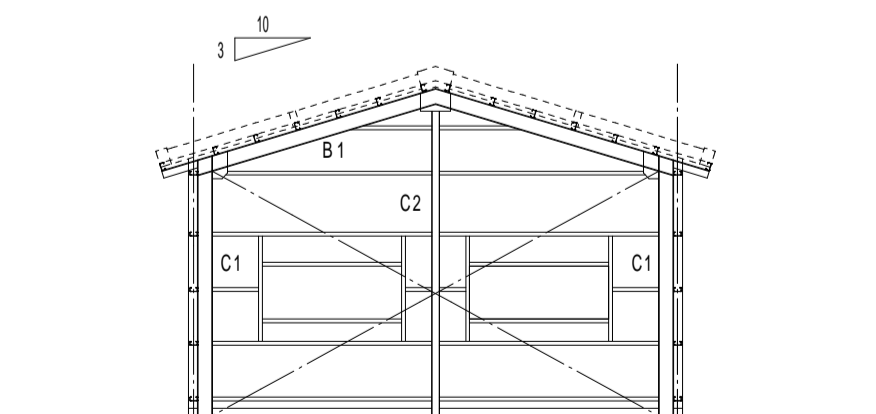
東面立面図



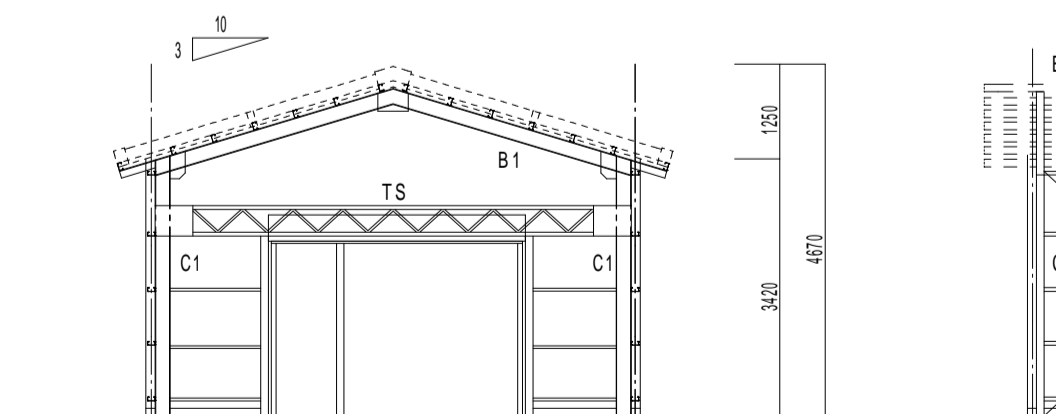
南面立面図



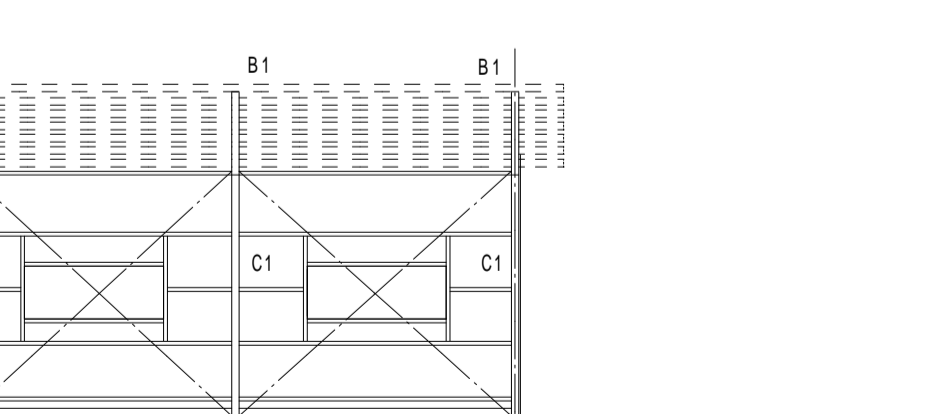
西面立面図



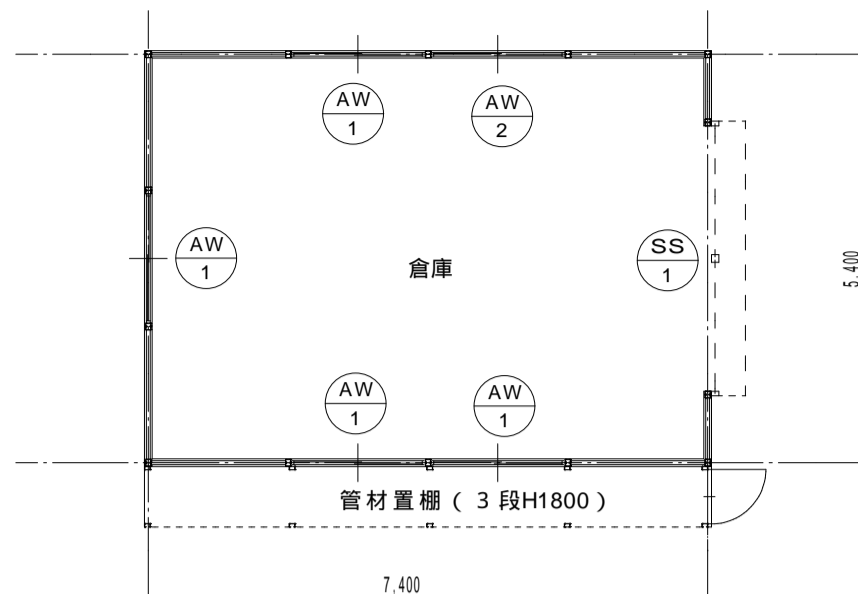
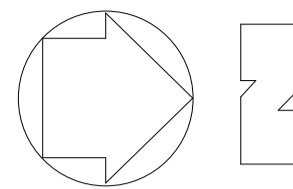
南面軸組図



北面軸組図



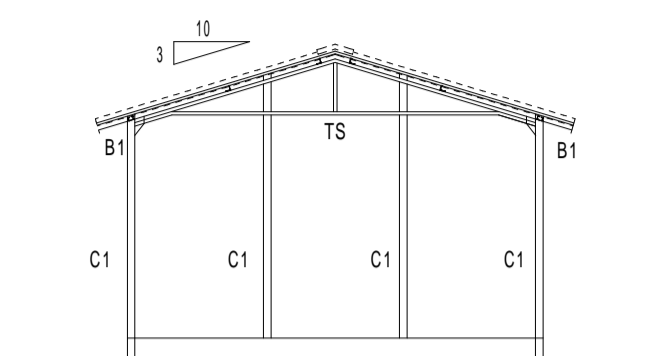
東面軸組図



平面図

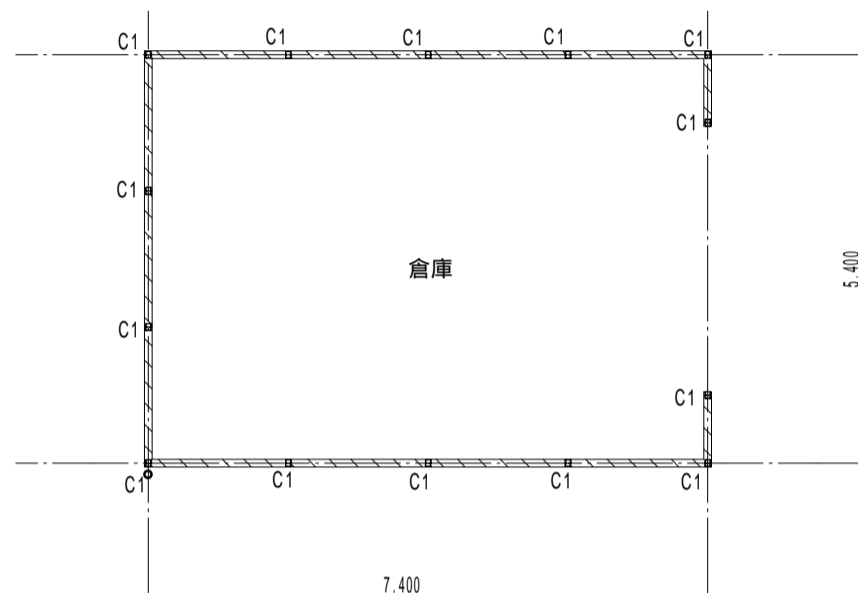
面積表	本 (倉庫棟4)	39.96
1階	7.400 * 5.400	= 39.9600

本 土木建築課倉庫

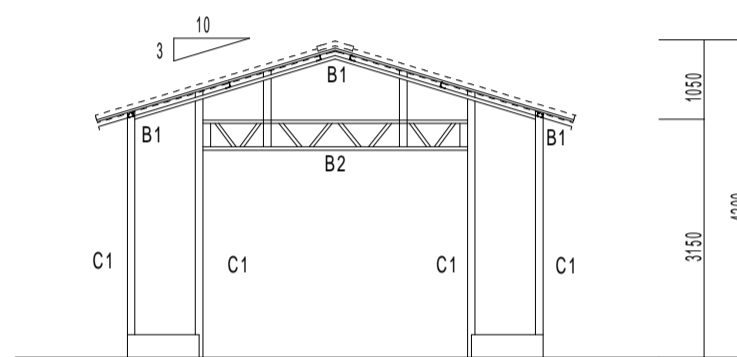


南面軸組図

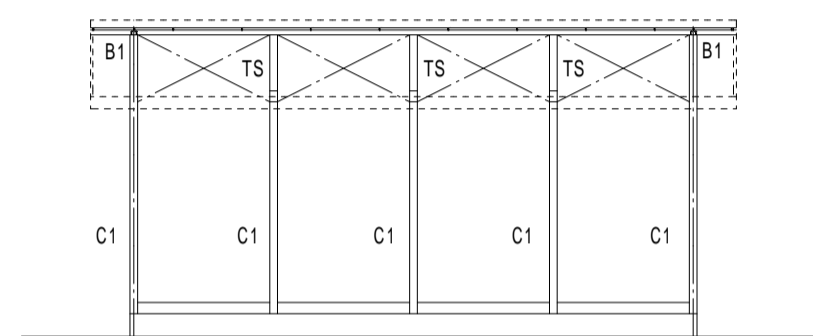
凡 例		凡 例	
符号	内 容	符号	内 容
C1	鉄骨柱 鉄骨柱：C-75×45×3.2 抱合せ		ブレース：水平・垂直ブレース 9
CB積	壁：CB t100積み (2段) を示す		母 屋 母屋：L-65×65×6 3本
C1	基礎 鉄筋コンクリート100×100H400 ベースプレート100 A.BOLT2-13 L=200		垂 木 垂木：L-30×30×3 @900程度
土間コンクリート	鉄筋コンクリート厚130 ワイヤメッシュ6 @150 砕石厚150	本 倉庫棟4	外壁：鉄骨造 フレキシブル板 t4貼
B1	外周梁 鉄骨梁：C-75×45×3.2 仕口PL-150 程度		屋根：鉄骨造 ベニア t3下地の 上 中波鉄板葺
B2	トラス 出入口鉄骨梁：H400 上部、下部C-75×45×3.2 ラチスC-45×45×3.2 @450		巾木：CB積み (2段)
TS	陸材：C-75×45×3.2 登り材：C-75×45×3.2 束材：C-75×45×3.2 仕口C-75×45×3.2抱合せ PL-200 程度		桶 軒樋塩ビ180角 縦樋100



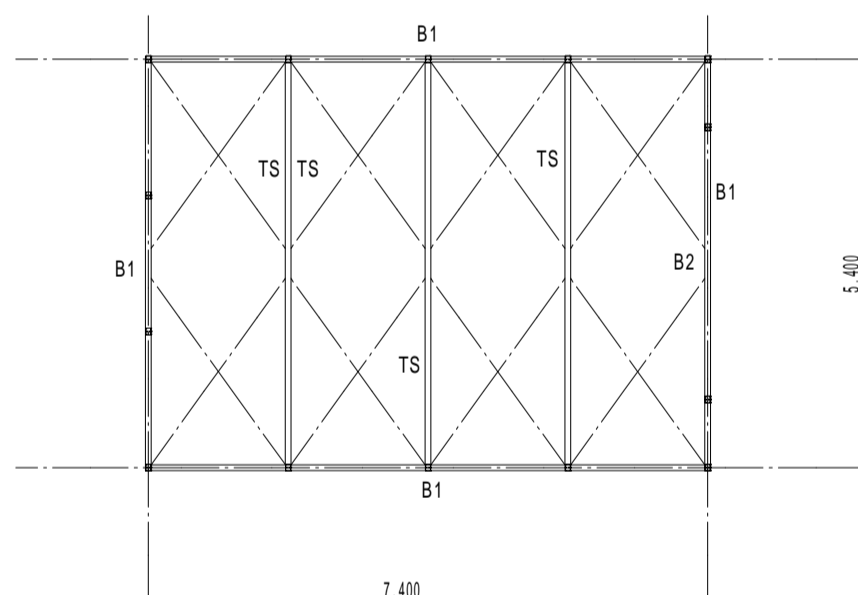
基礎伏図



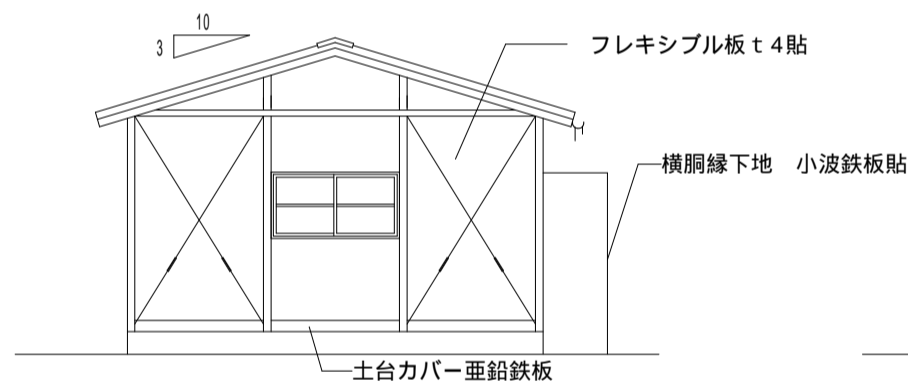
北面軸組図



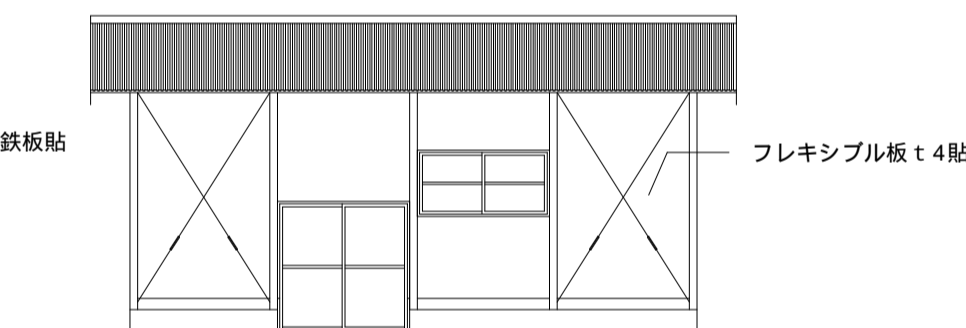
東面軸組図



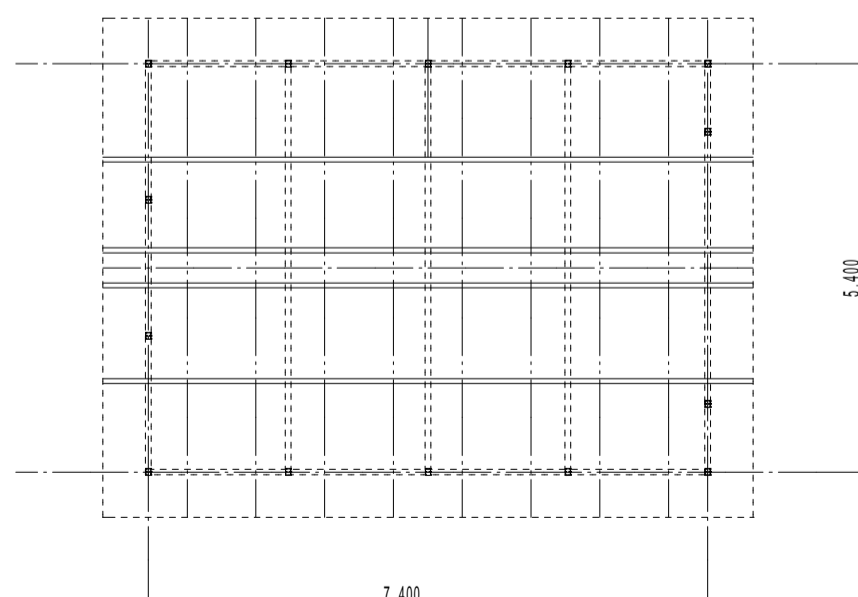
梁伏図



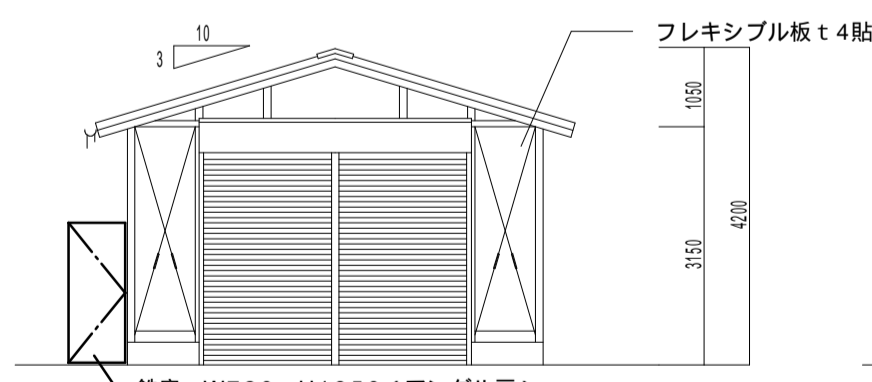
南面立面図



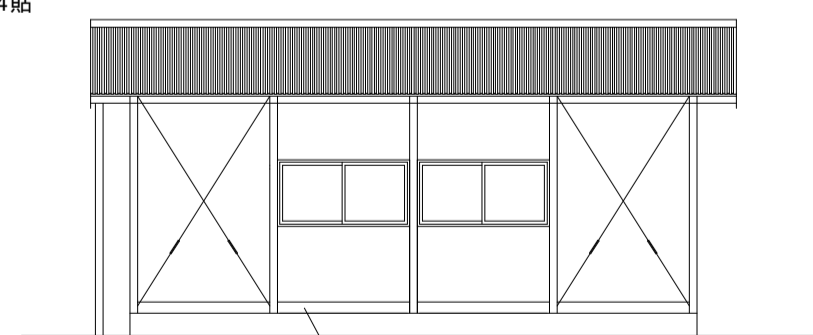
西面立面図



屋根伏図



北面立面図



東面立面図

符号	形状	数量	AW1	鉄骨外付け引違い窓	3ヶ所
位置		倉庫			
姿図					
材料・仕上		アルミ B-2種 アングルピース付			
見込		70			
硝子		フロート板ガラス13			
金物		標準金物一式			
備考					
符号	形状	数量	AW2	鉄骨外付け引違い窓	1ヶ所
位置		倉庫			
姿図					
材料・仕上		アルミ B-2種 アングルピース付			
見込		70			
硝子		フロート板ガラス13 腰 パネル			
金物		標準金物一式			
備考					
符号	形状	数量	SS1	スチールシャッター	1ヶ所
位置		倉庫			
姿図					
材料・仕上		スチール			
見込					
硝子					
金物		標準金物一式			
備考					

凡例 印は石綿分析の結果、含有とされた建材を示す

設計 **有限会社 コア建築事務所**
 一級建築士事務所 京都府 (03A) 第00632号
 一級建築士登録 第187707号 管理建築士 山口修史

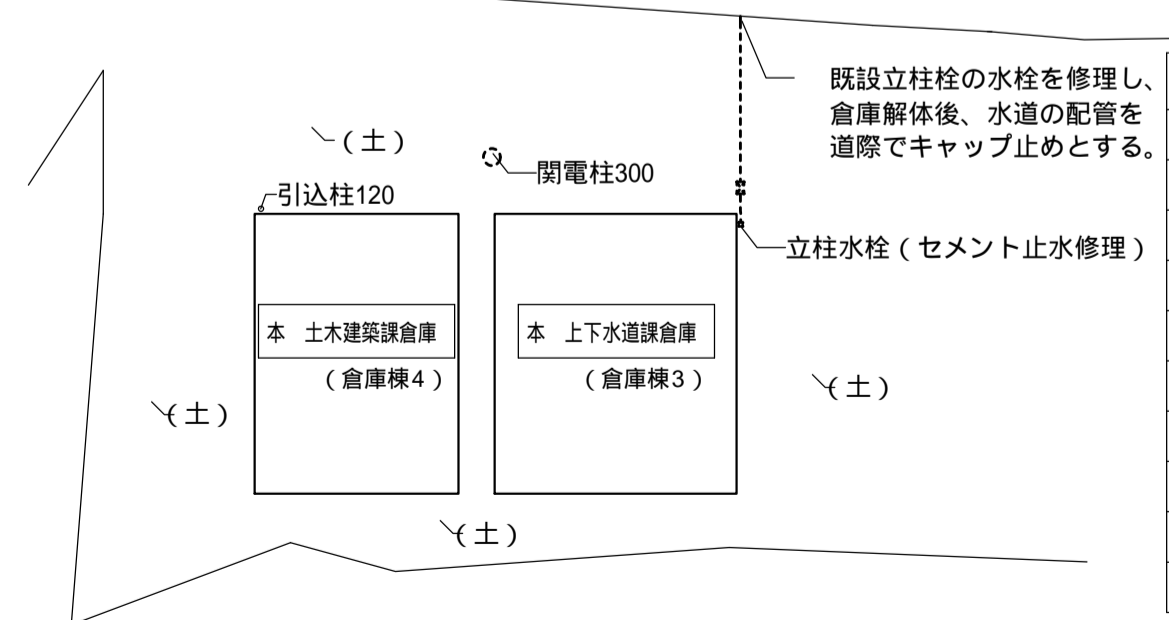
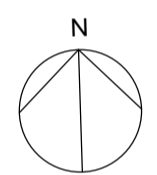
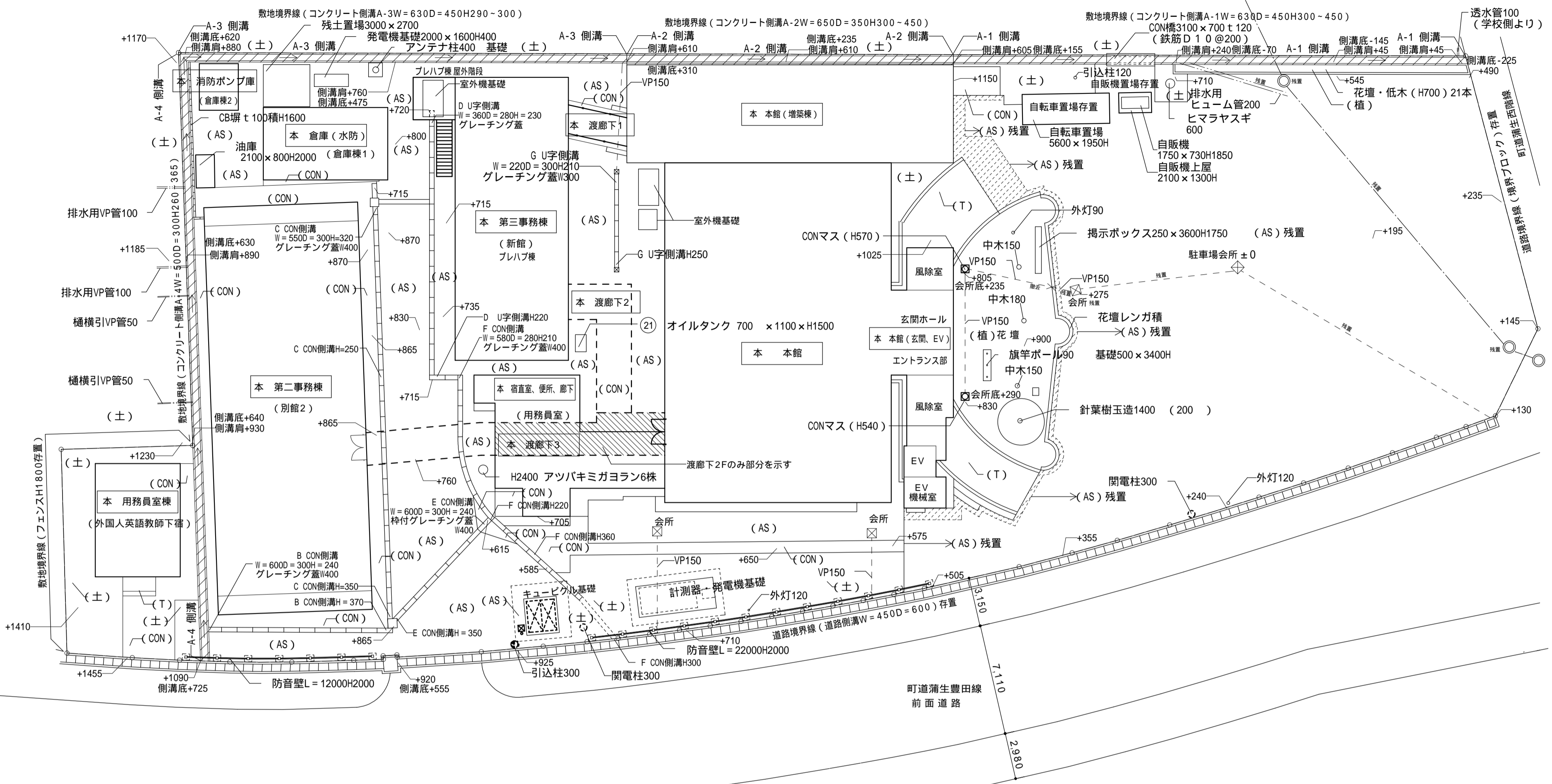
TITLE **京丹波町役場旧庁舎解体 工事設計図**
 NAME **本 土木建築課倉庫 平面図・立面図・建具リスト・各伏図・軸組図**

DATE 2024. 03.
 SCALE 1/100

COA 有限会社 **コア建築事務所**

CHECK PLAN DRW

NO. A-100
105



既設立柱栓の水栓を修理し、倉庫解体後、水道の配管を道際でキャップ止めとする。

立柱水栓（セメント止水修理）

符号	撤去内容	符号	撤去内容	符号	撤去内容	符号	撤去内容
	花壇・低木 (H700) 21本		キュービクル基礎	(21)	オイルタンク 700 × 1100 × H1500	C	コンクリート側溝撤去 W = 550D = 300H = 320 ~ 350
	ヒマラヤスギ600		計測器・発電機基礎			D	U字側溝撤去 W = 360D = 280H = 220 ~ 230
	掲示ボックス250 × 3600H1750		残土置場3000 × 2700			E	コンクリート側溝撤去 W = 600D = 300H = 240 ~ 350
	中木150		防音壁L = 22000H2000			F	コンクリート側溝撤去 W = 580D = 280H210 ~ 300
	中木150		防音壁L = 12000H2000			G	U字側溝撤去 W = 220D = 300H210 ~ 250
	中木180		油庫2100 × 800H2050	A-1	コンクリート側溝撤去新設 W = 630D = 450H300 ~ 450	(AS)	アスファルト舗装 表層 t 35 + 路盤 t 150
	針葉樹玉造1400 (200)		CB塀 t 100積H1600	A-2	コンクリート側溝撤去新設 W = 650D = 350H300 ~ 450	(CON)	コンクリート舗装 t 120程度
	旗竿ポール90 基礎500 × 3400H		H2400 アツパキミガヨラン6株	A-3	コンクリート側溝撤去新設 W = 630D = 450H290 ~ 300	(土)	土・砕石
	発電機基礎2000 × 1600H400		会所マス 600 × 600 H570・H540 コンクリート蓋	A-4	コンクリート側溝撤去新設 W = 500D = 300H260 ~ 365	(T)	タイル貼
	アンテナ柱400 基礎		玄関花壇 レンガ積D210 × t 60 × 7段	B	コンクリート側溝撤去 W = 600D = 300H = 240 ~ 370	(植)	植込み

側溝： W = 外側寸法、D = 内側寸法、H = 深さ

レベル関係は現状のレベルを示す。

駐車場会所天端を±0とする。+*、-*は駐車場会所天端よりのレベルを示す。

設計 有限会社 コア建築事務所
 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 京都府 (03A) 第00632号
 一級建築士 登録 第187707号 管理建築士 山口修史

TITLE 京丹波町役場旧庁舎解体
 外構撤去配置図

工事設計図

DATE 2024. 03.
 SCALE 1/200

COA 有限会社 コア建築事務所

CHECK PLAN DRW

NO. A-101
 105

<p>花壇・低木 (H700) 21本 1/30</p> <p>断面図</p> <p>断面図</p>	<p>ヒマラヤスギ600 H15000程度撤去 (抜根まで) 1/100</p> <p>幹周 2050</p> <p>姿図</p>	<p>掲示ボックス250×3600H1750 1/50</p> <p>断面図</p> <p>製品色調:生地(ヘアライン仕上げ) 本体:ステンレス SUS304 (t=1.5) 骨材:ステンレス (t=1.5~2.0) 掲示ボード:鋼板+PP+鋼板 (t=3.0) マグネットタイプ(ホワイト) 保護板:強化ガラス (t=5.0) 照明:LED (40W形×1灯) / 100V 自動点滅器付 錠前:プッシュ錠(キー付) 製品重量:360kg ベースプレート:SS400 (t=9.0)</p>	<table border="1"> <tr> <td>中木150 撤去(抜根まで)</td> <td>中木150 撤去(抜根まで)</td> </tr> <tr> <td>アメリカハナミズキ 幹周 500 H5000</td> <td>アメリカハナミズキ 幹周 510 H5000</td> </tr> <tr> <td>中木180 撤去(抜根まで)</td> <td>針葉樹玉造200 撤去(抜根まで)</td> </tr> <tr> <td>アメリカハナミズキ 幹周 570 H5000</td> <td>ヒマラヤスギ 幹周 1400 H5000</td> </tr> <tr> <td>H2400 6株 撤去(抜根まで)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アツバキミコラン H2400</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">② オイルタンク 700 × 1100 × H1500 (鋼製) 1/50</td> </tr> </table>	中木150 撤去(抜根まで)	中木150 撤去(抜根まで)	アメリカハナミズキ 幹周 500 H5000	アメリカハナミズキ 幹周 510 H5000	中木180 撤去(抜根まで)	針葉樹玉造200 撤去(抜根まで)	アメリカハナミズキ 幹周 570 H5000	ヒマラヤスギ 幹周 1400 H5000	H2400 6株 撤去(抜根まで)		アツバキミコラン H2400		② オイルタンク 700 × 1100 × H1500 (鋼製) 1/50	
中木150 撤去(抜根まで)	中木150 撤去(抜根まで)																
アメリカハナミズキ 幹周 500 H5000	アメリカハナミズキ 幹周 510 H5000																
中木180 撤去(抜根まで)	針葉樹玉造200 撤去(抜根まで)																
アメリカハナミズキ 幹周 570 H5000	ヒマラヤスギ 幹周 1400 H5000																
H2400 6株 撤去(抜根まで)																	
アツバキミコラン H2400																	
② オイルタンク 700 × 1100 × H1500 (鋼製) 1/50																	
<p>旗竿ポール90 基礎500×3400×H100 (GLよりの高さ) 1/100</p> <p>断面図</p>	<p>発電機基礎2000×1600×H400 (GLよりの高さ) 1/50</p> <p>断面図</p> <p>キュービカル基礎2300×2400H300 (GLよりの高さ) 1/50、1/100</p> <p>断面図</p> <p>平面図</p>	<p>アンテナ柱400 基礎 900×900×H100 (GLよりの高さ) 1/50</p> <p>断面図</p>	<p>計測器・発電機基礎2000×5000×H300 (GLよりの高さ) 1/50、1/100</p> <p>断面図</p> <p>平面図</p> <p>残土置場3000×2700 3方境界ブロック120×120×600 2段積み / 50</p> <p>残土H500程度撤去</p>														

印は石綿分析の結果、石綿含有とされた建材を示す

設計 有限会社 コア建築事務所
 一級建築士事務所 京都府(03A)第00632号
 一級建築士登録 第187707号 管理建築士 山口修史

TITLE 京丹波町役場旧庁舎解体
 NAME 外構撤去詳細図-1

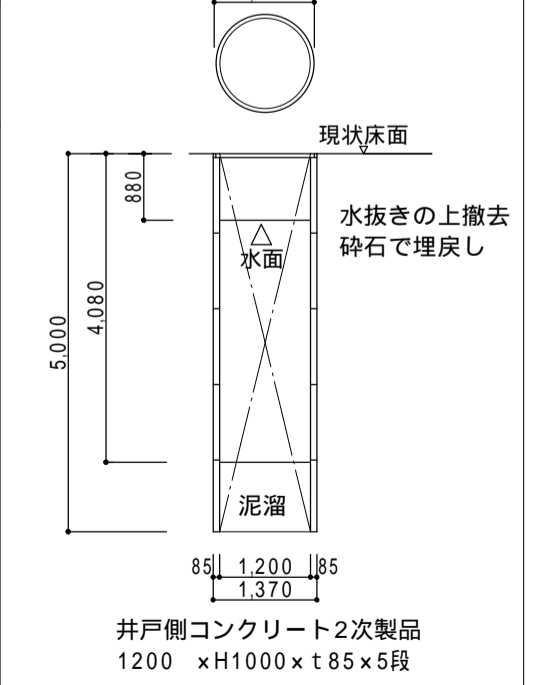
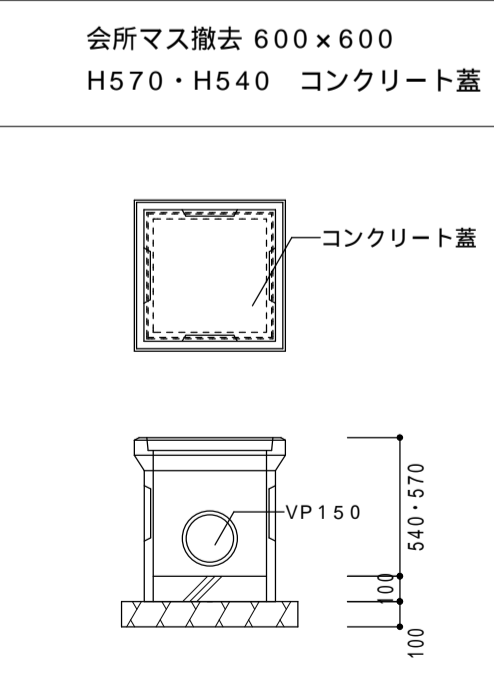
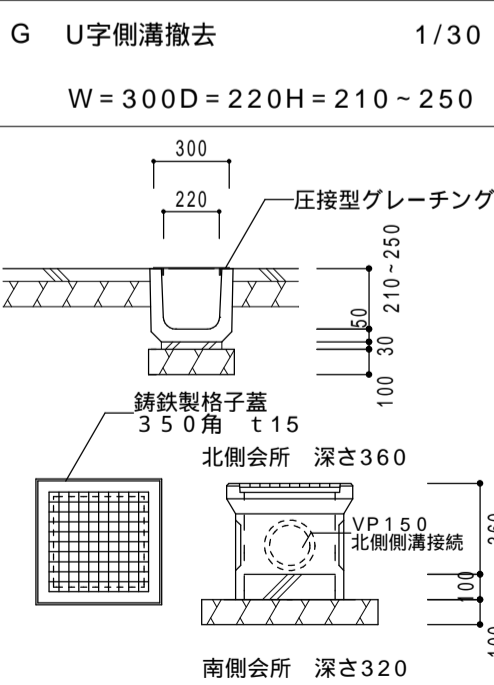
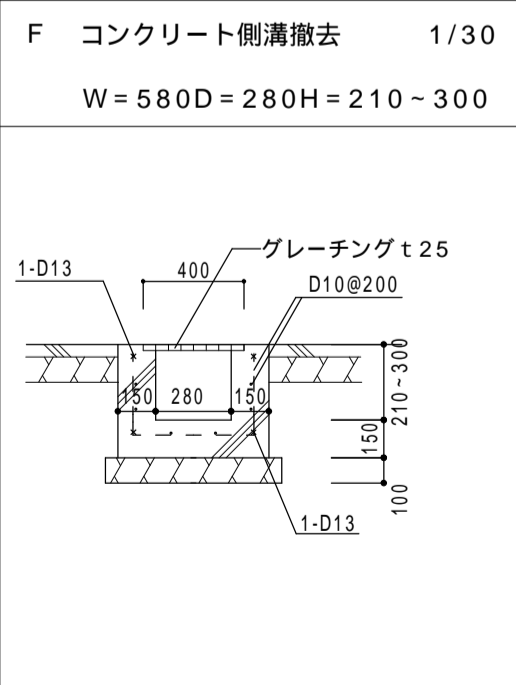
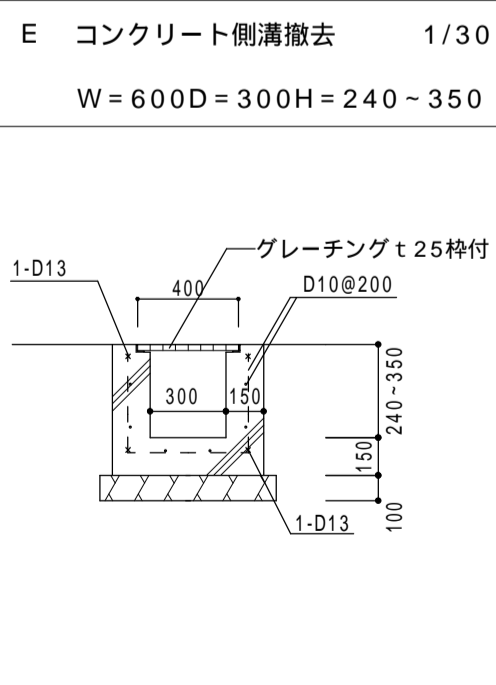
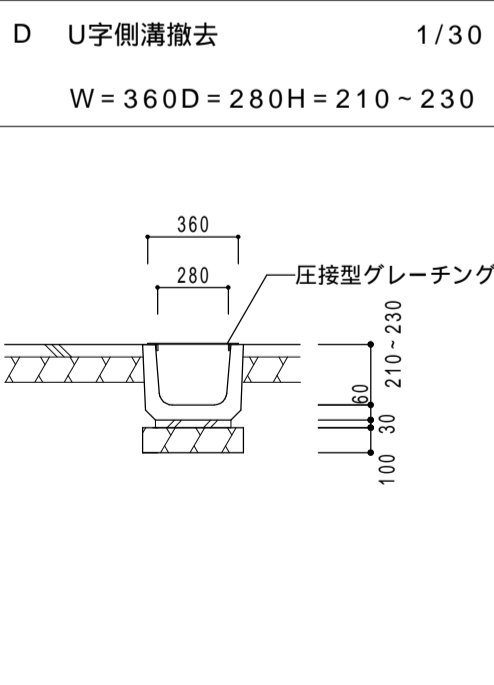
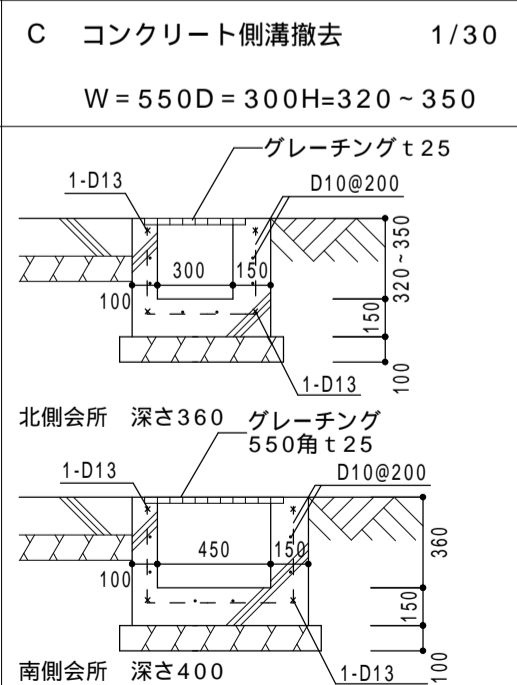
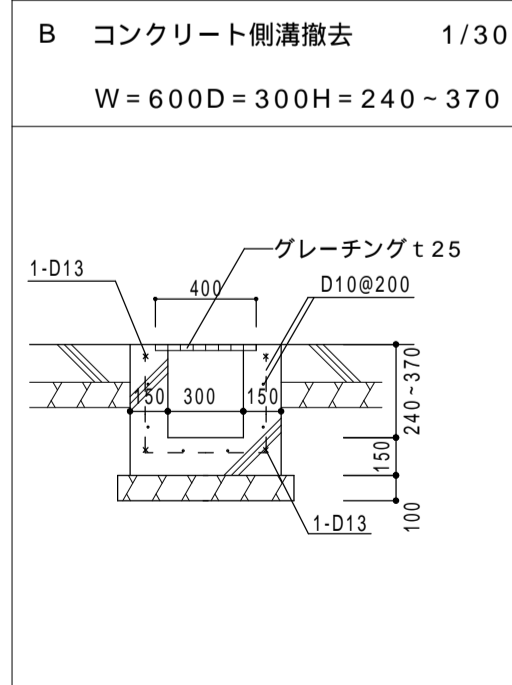
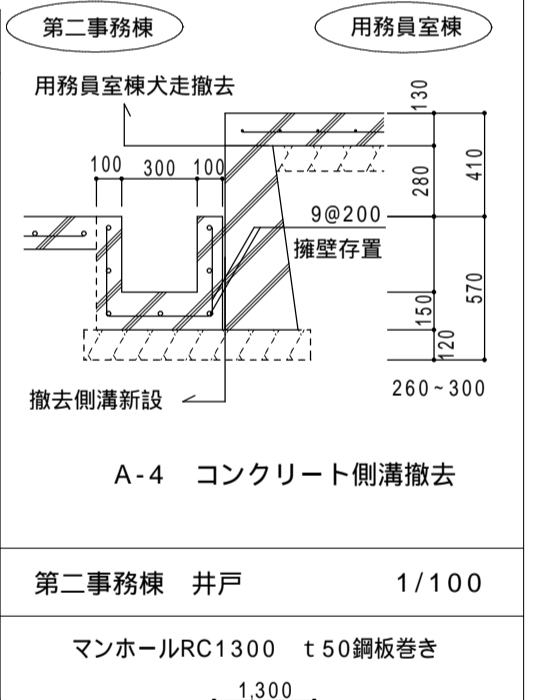
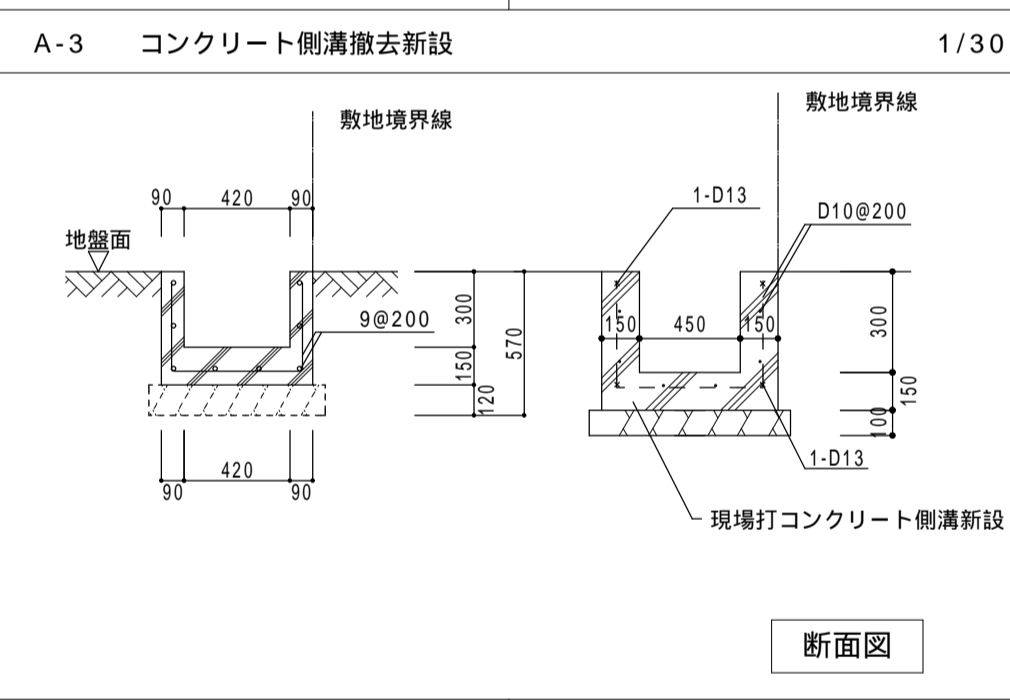
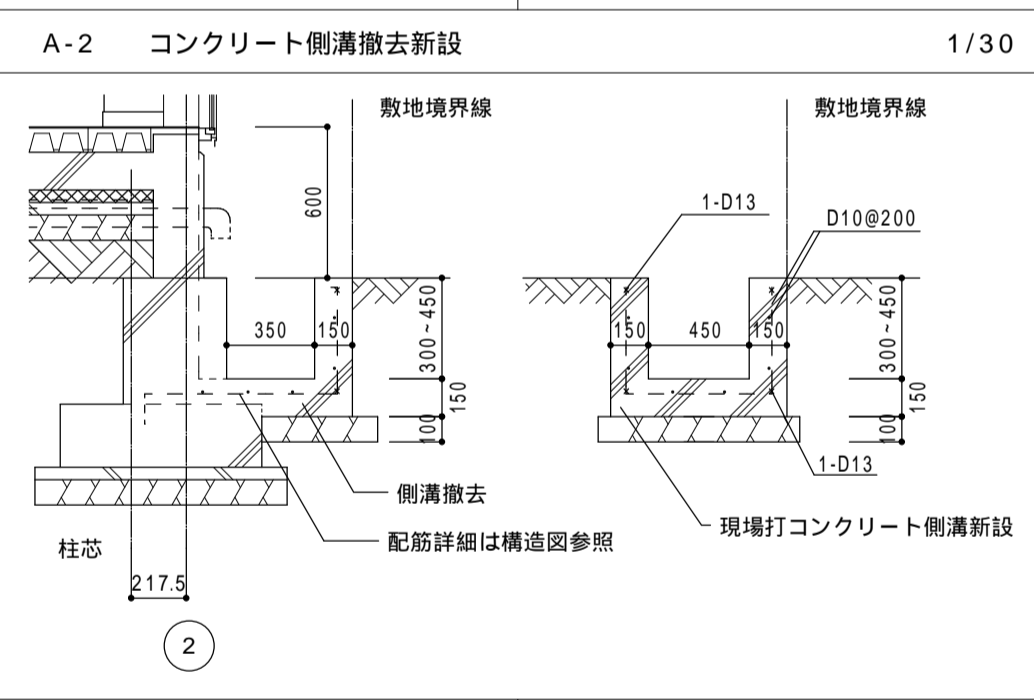
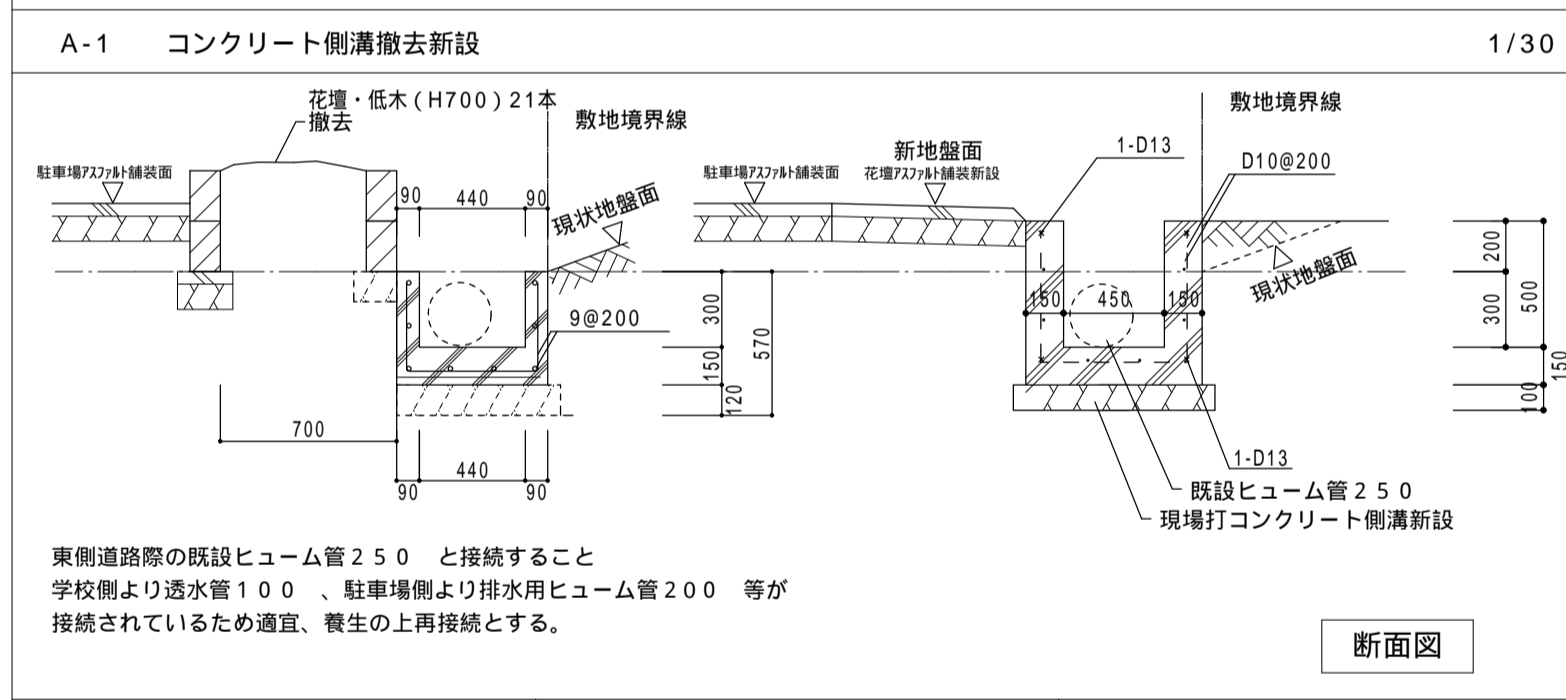
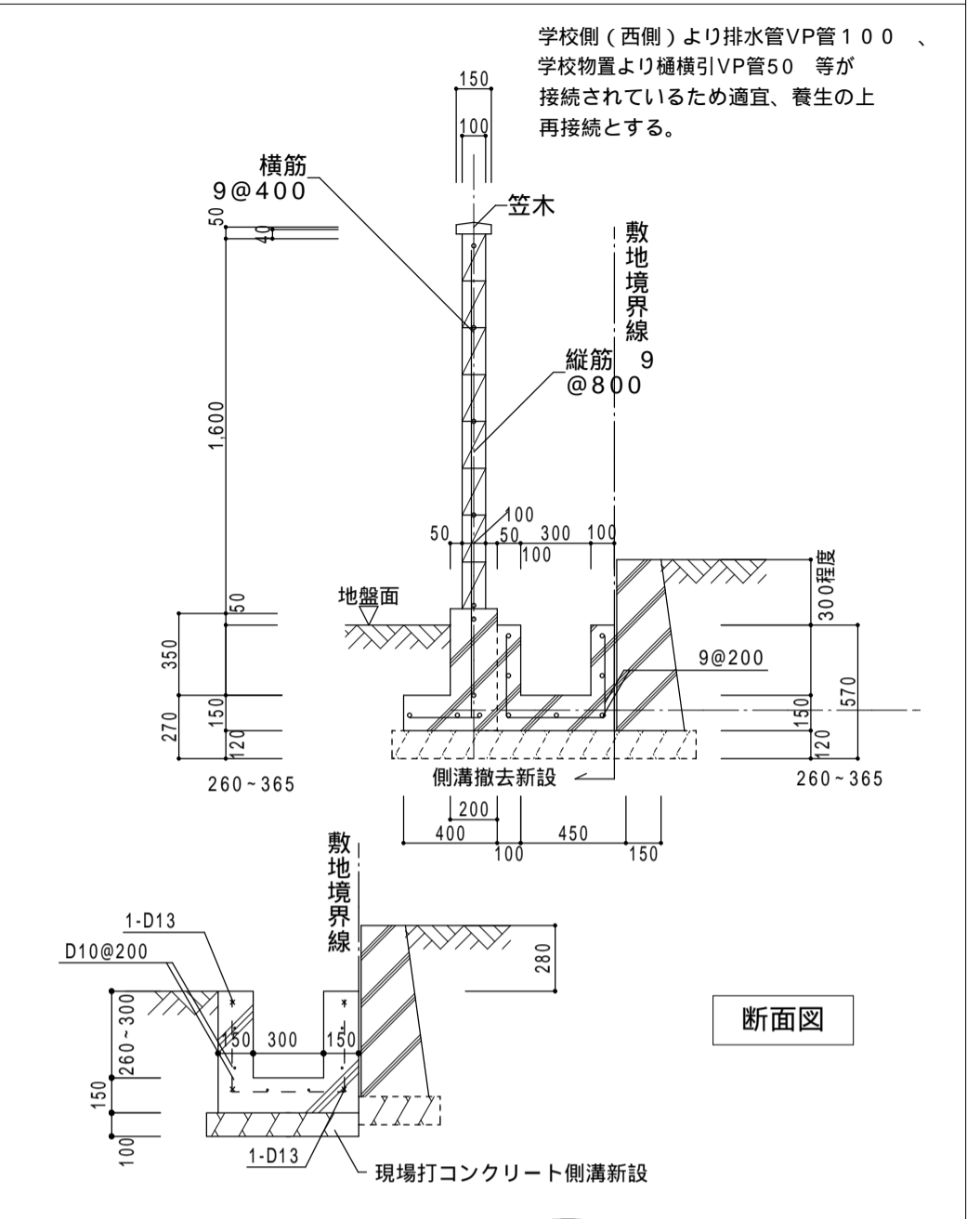
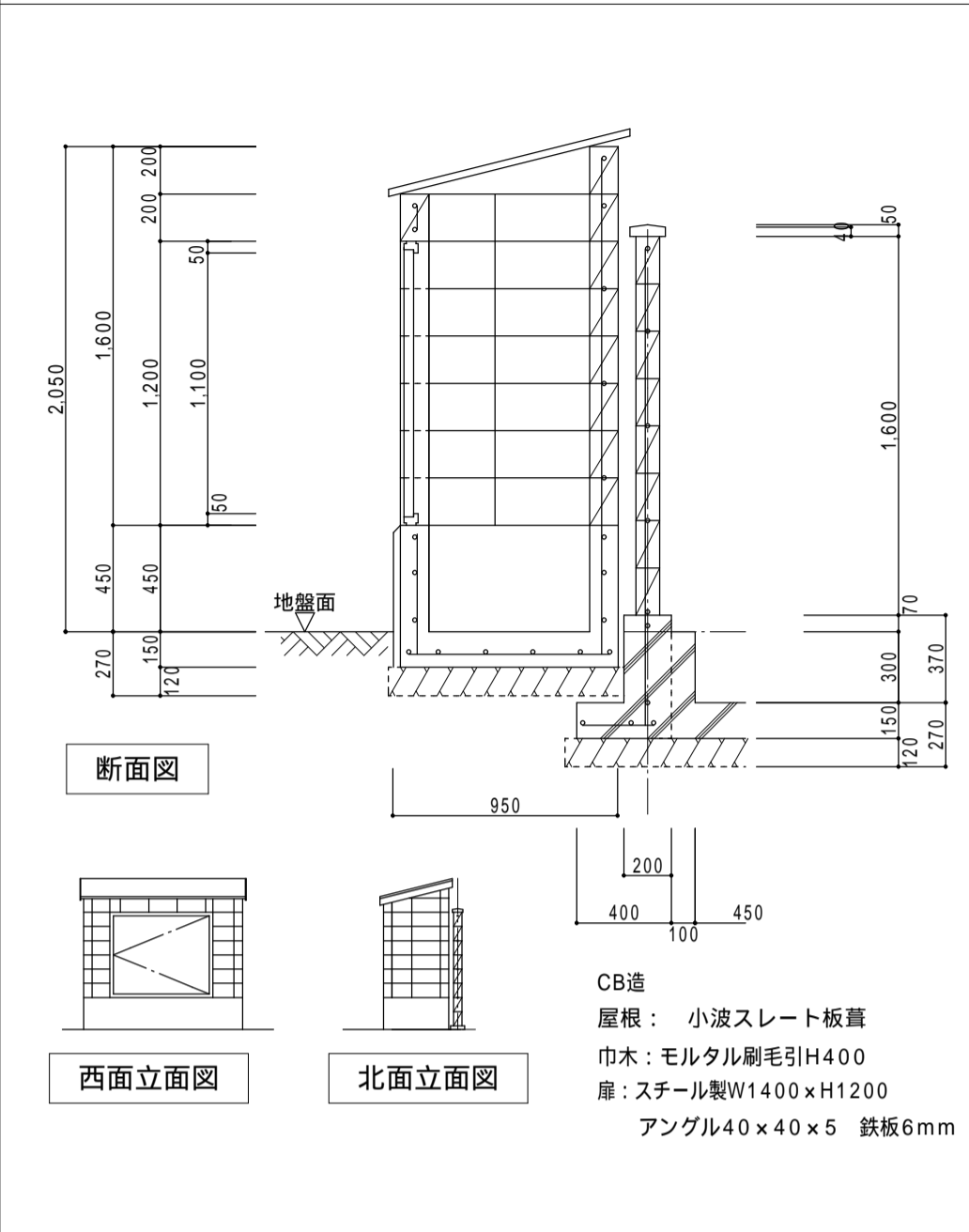
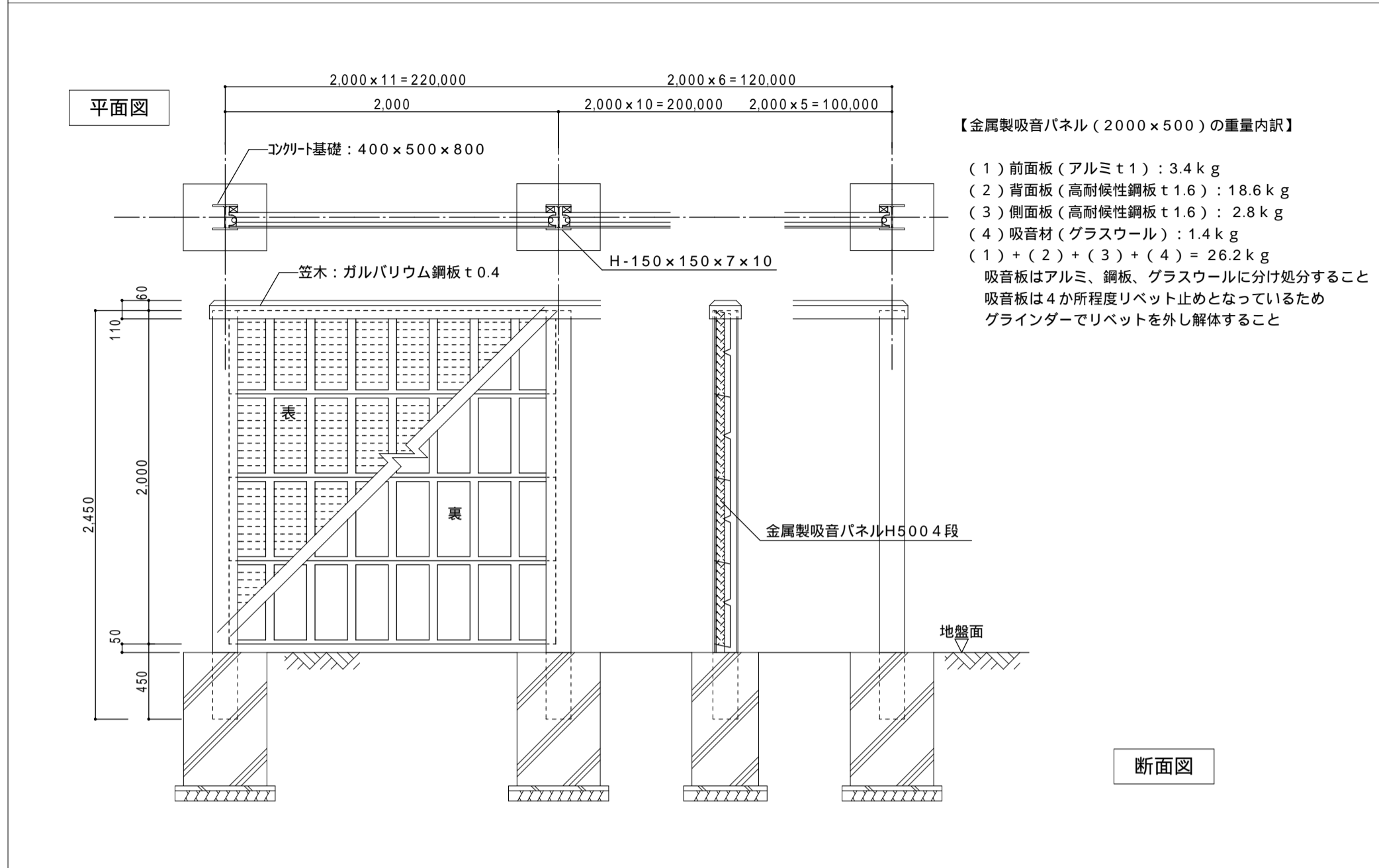
工事設計図

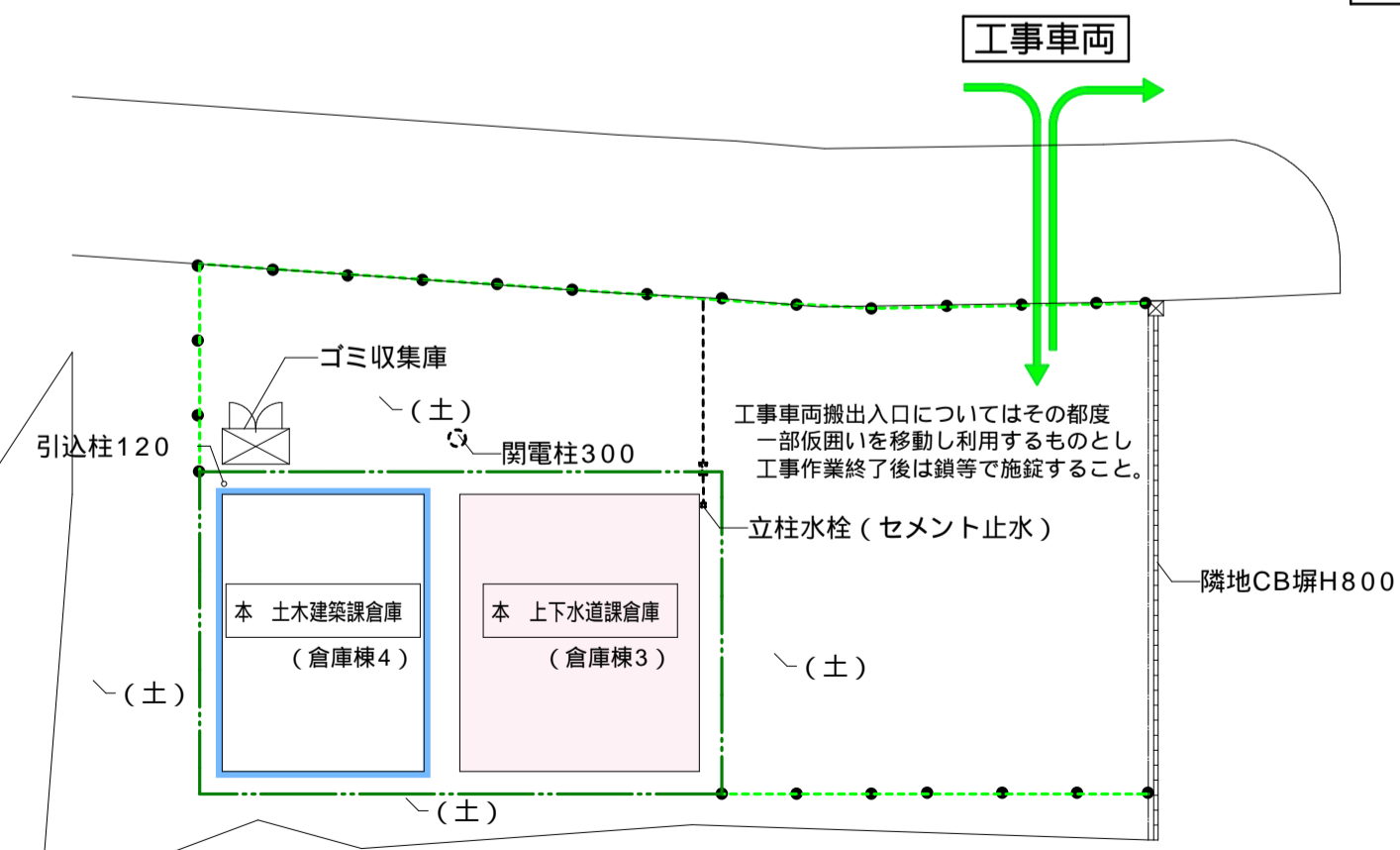
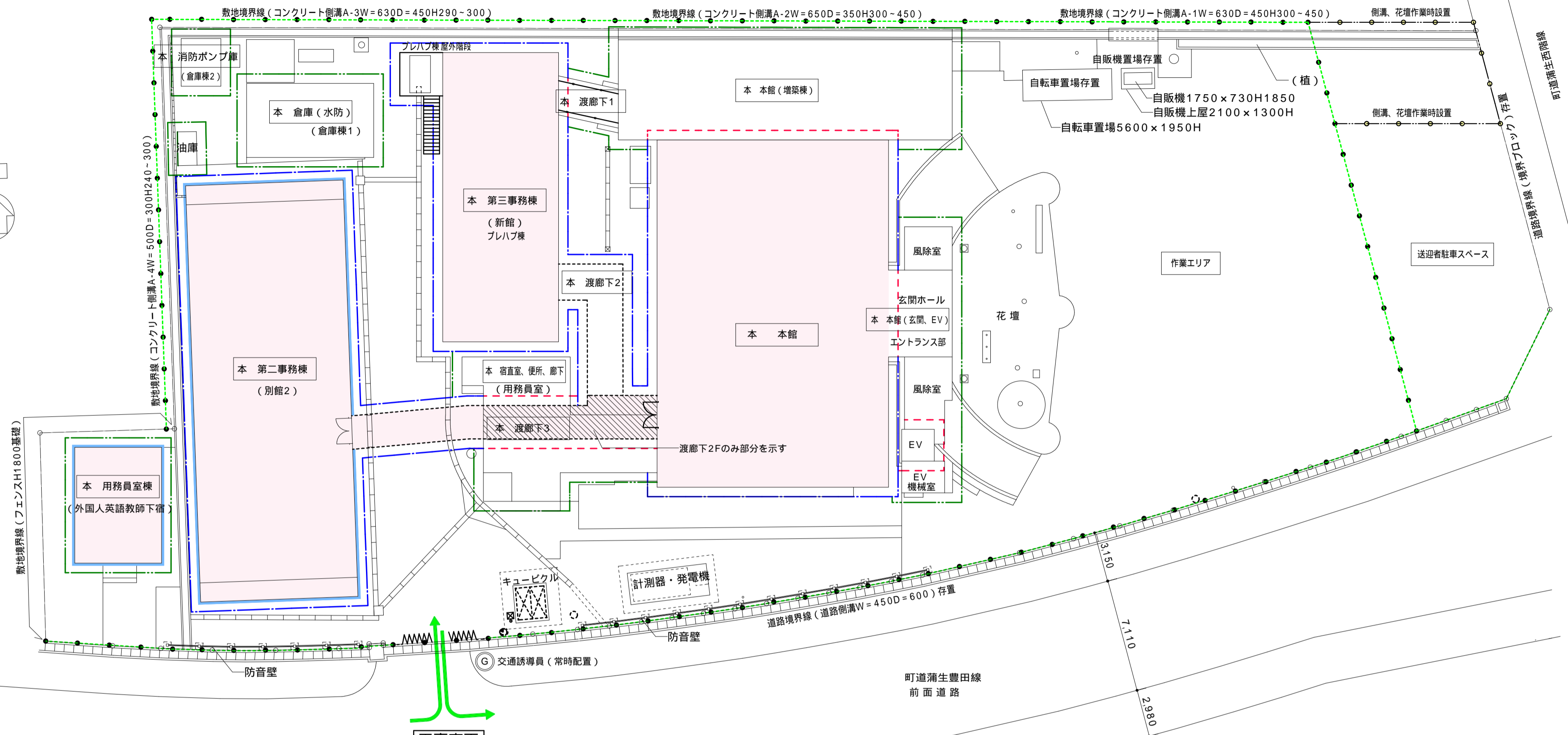
DATE 2024. 03.
 SCALE 1/30, 50, 100

CHECK PLAN DRW

COA 有限会社 コア建築事務所

NO. A-102
 105

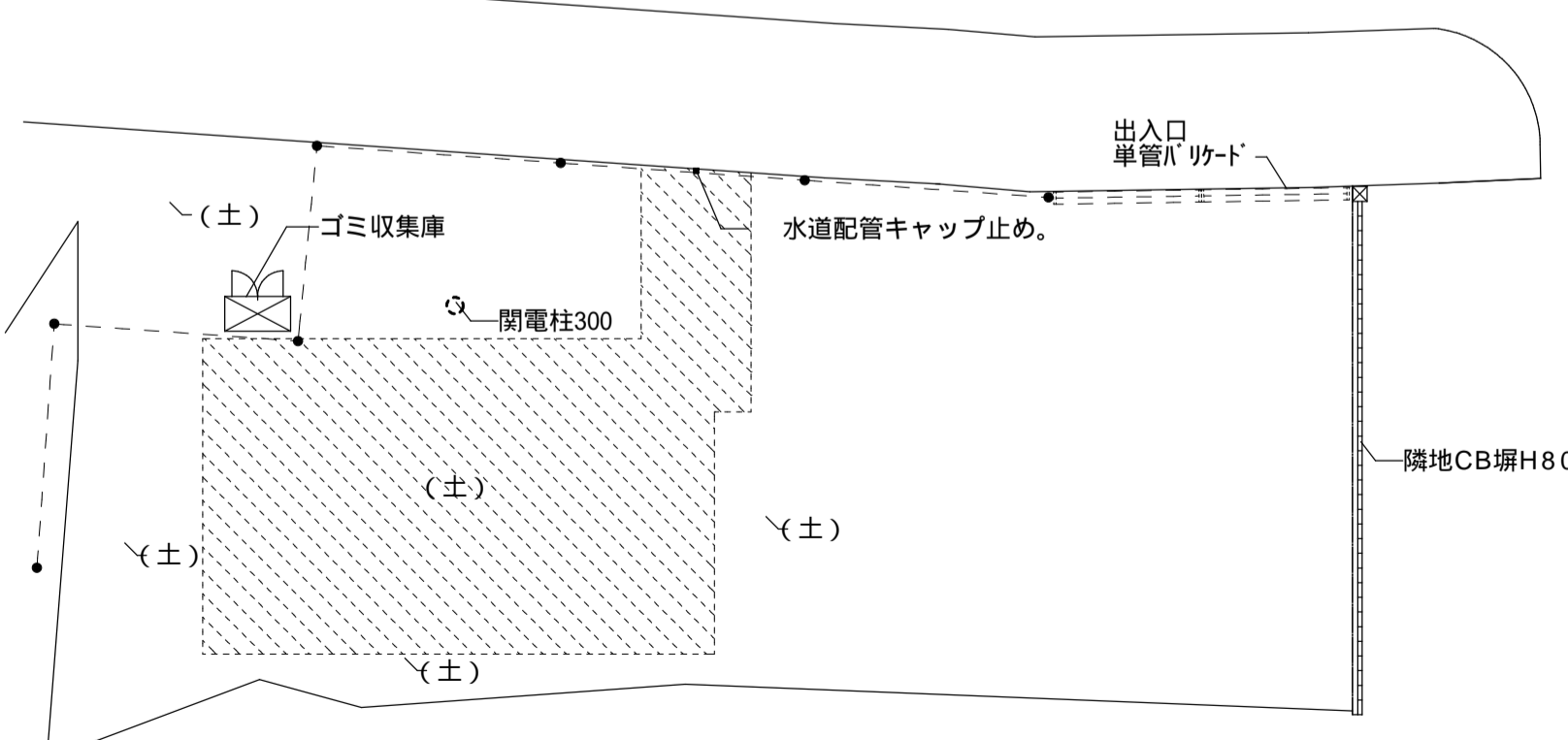
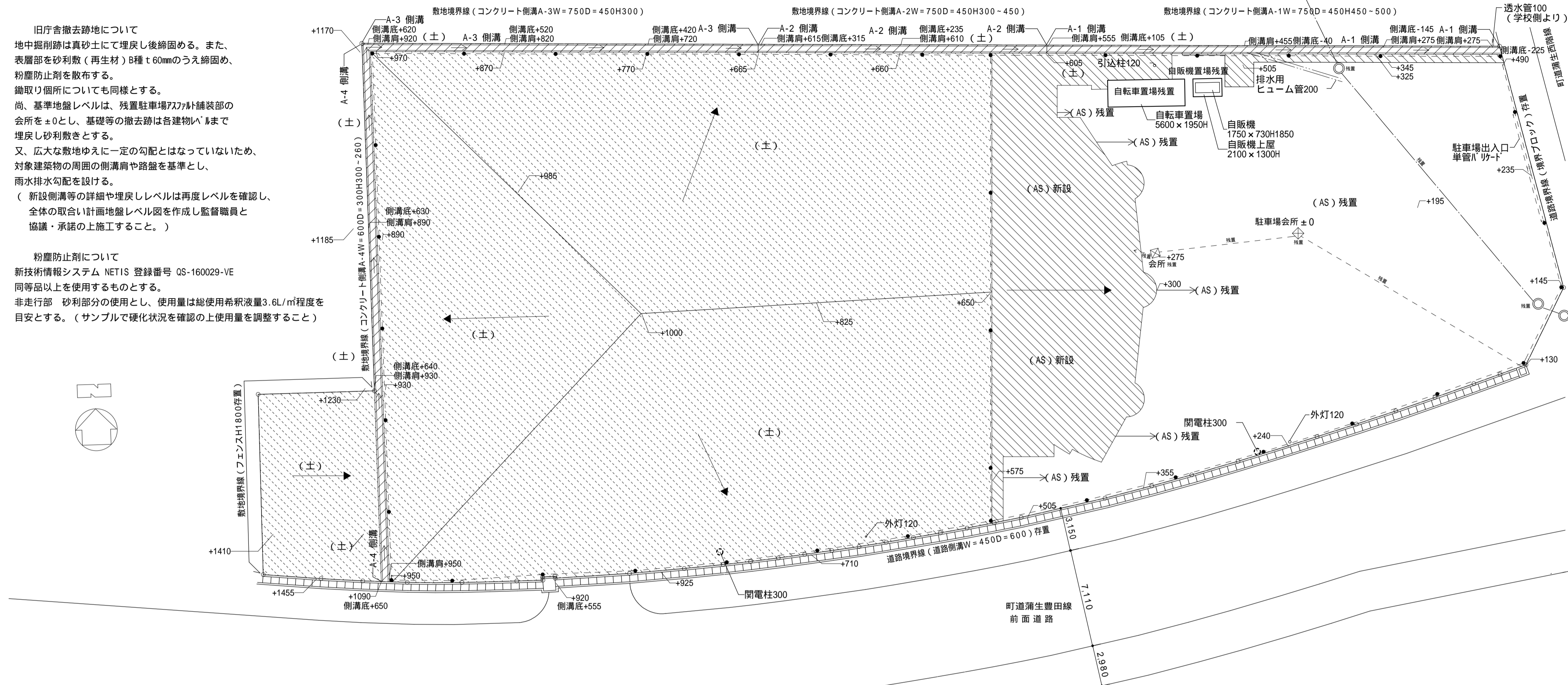




凡 例	制約事項, 注意事項, 他	凡 例	
1	本安全計画図は参考図であり、施工に際し、調整、協議を十分に行い工程表を作成し、監督職員への承諾を得ること。	○●○●○●	仮囲い：カラーコーン及びコーンバー
2	工事範囲 (仮囲い内) 存置物) 及び工事車両進入経路にある側溝、会所、設備マンホール等については指示がなくても工事車両の通行により損傷なきよう養生等の措置を講ずること。	●●●●●●	仮囲い：ガードフェンス H=1800連続 (フェンス用コンクリート足共)
3	工事に際し、工事敷地周囲、建物等には損傷なきよう十分注意をすること。なお、仮設計画 (足場・架台等) については、監督職員と十分協議すること。	W W	工事用出入口：クロスゲート W6000xH1800程度
4	第三者が危険な場所に立ち入らないように、図示以外の場所にも必要に応じて、フェンス/リガード やガードを設置すること。特に仮設足場に容易に入れないようにすること。	➡	資材搬入搬出経路を示す (車両の出入口には適宜敷き鉄板養生をすること)
5	レッカー車その他工事用資材運搬車が進入する場合は、交通誘導員について事前に監督職員と打合せを行い交通誘導員を適宜配置すること。	■	石綿含有外壁材を示す。(リシン吹付、吹付タイル、フレキシブル板)
6	工事完成に際しては、工事中使用した敷地には、清掃・整地を行い損傷のある部分は補修を行うこと。(工事に先立ち敷地周囲の現状を記録しておくこと)	■	石綿含有屋根葺き材を示す。(スレート、化粧スレート)
7	段ボール等の堆積は厳禁とし、可燃物 (燃料等) は防火防犯のため、毎日持ち帰ること。	---	GL±0より2階屋根最高高さまでの足場 (600枠)
8	工事車両搬入時には、警備員を適宜配置すること。	---	GL±0より1階屋根最高高さまでの足場 (600枠)
9	土で場外を汚さないようにすること。	---	下屋より2階屋根最高高さまでの足場 (600枠)
10	通学路に隣接するため事故の無いよう安全対策を行うこと。	---	足場外部側は防音シートですき間無く覆うこと (石綿飛散防止を徹底すること)
11	道向かい土木建築課倉庫前にはゴミ集積庫があるため作業において、収集日を考慮すること。	---	石綿含有の吹付タイル・リシン吹付部分の外壁足場部分には床二重張 隔離シート t0.15 壁一重張 隔離シート t0.08にて養生すること
12	作業エリアを有効利用するため、敷地周囲の仮囲い設置後、キュービクル、計測器・発電機 (各基礎共) を撤去し、通路を確保すること。	---	工事中は事故の無いよう指示以外もカラーコーン等で安全誘導を行うこと

旧庁舎撤去跡地について
 地中掘削跡は真砂土にて埋戻し後締固める。また、表層部を砂利敷（再生材）B種 t 60mmのうえ締固め、粉塵防止剤を散布する。
 鉤取り箇所についても同様とする。
 尚、基準地盤レベルは、残置駐車場アスファルト舗装部の会所を±0とし、基礎等の撤去跡は各建物レベルまで埋戻し砂利敷きとする。
 又、広大な敷地ゆえに一定の勾配とはなっていないため、対象建築物の周囲の側溝肩や路盤を基準とし、雨水排水勾配を設ける。
 （新設側溝等の詳細や埋戻しレベルは再度レベルを確認し、全体の取合い計画地盤レベル図を作成し監督職員と協議・承諾の上施工すること。）

粉塵防止剤について
 新技術情報システム NETIS 登録番号 QS-160029-VE
 同等品以上を使用するものとする。
 非走行部 砂利部分の使用とし、使用量は総使用希釈液量3.6L/m²程度を目安とする。（サンプルで硬化状況を確認の上使用量を調整すること）



側溝： W=外側寸法、D=内側寸法、H=深さ

符号	撤去後内容	符号	撤去後内容
	敷地周囲コンクリート側溝新設（既設仕様程度）	A-1	コンクリート側溝新設 W=750D=450H450~500
	アスファルト舗装新設	A-2	コンクリート側溝新設 W=750D=450H300~450
	表層部砂利敷舗装新設（真砂土にて埋戻し、表層部砂利敷き粉塵防止剤散布）	A-3	コンクリート側溝新設 W=750D=450H300
		A-4	コンクリート側溝新設 W=600D=300H260~300
	敷地勾配	側溝	コンクリート側溝の排水勾配は1/100以上とする。
	既設アスファルト舗装残置		
	既設汚水樹及び汚水管残置（中学校屋外便所より）		
	既設会所、VP100 排水管残置（AS駐車場）	(AS)	アスファルト舗装 表層 t 35 + 路盤 t 150
	整地後敷地周囲仮囲い（2段フック+ブスチック @10m、トラロープ2段張り）	(CON)	コンクリート舗装 t 120程度
	駐車場出入口単管レリット L4000 2ヶ所 道向かい2ヶ所	(土)	土・砕石
		(T)	タイル貼
		(植)	植込み